

SHARP®

MDポータブルレコーダー

エム ディー エム ディー
形名 **MD-MT77**

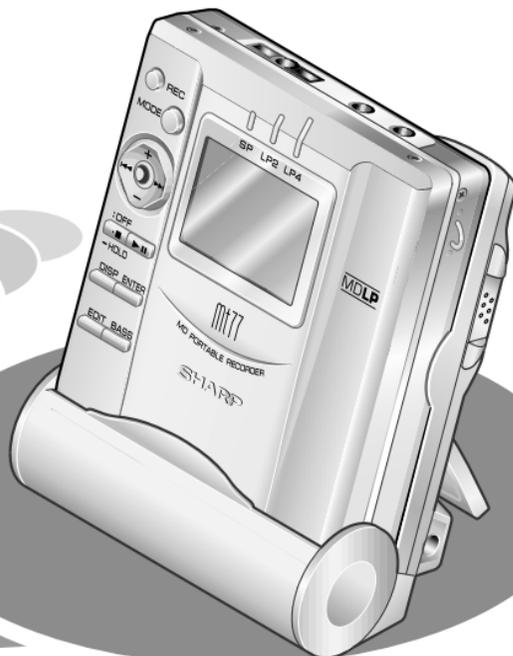
取扱説明書



MDLP



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず
保存してください。



1章 お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために... 4
 おもな特長 12
 付属品について 13
 各部のなまえ 14

2章 準備

充電スタンドについて 18
 充電する 20
 ACアダプターで使う 22
 乾電池で使う 23
 MDを入れる 24
 録音する機器をつなぐ 26

3章 簡単な使いかた

MDに録音する 28
 MDを聞く 32

4章 いろいろな再生

頭出しをする 35
 聞きたい所をさがす 36
 イントロ再生をする 37
 ランダム再生やリピート再生をする 38
 2倍速早聞き再生をする 39

5章 いろいろな録音

再生側に合わせて、録音を始める
 (シンクロ録音) 40
 長時間録音する 42
 曲の途中から録音する 44
 手動で曲番をつける 45
 自動で曲番をつける 46
 デジタル録音に関するご注意 47

6章 マイク録音

マイクを接続して、録音を始める 48
 音声に合わせて、録音を始める
 (シンクロ録音) 50
 曲番のつく間隔を変える 51

7章 表示内容の確認

経過時間・残り時間を確認する	52
録音残り時間・総再生時間を確認する	52
各曲の再生時間を確認する	53
電池残量を確認する	53

8章 MDの編集

ディスクや曲に名前をつける	54
他のMDからタイトルをスタンプする	57
曲を消す（イレース）	59
曲を分ける（デバイド）	60
曲をつなぐ（コンバイン）	61
曲を移動する（ムーブ）	62

9章 便利な使いかた

誤動作防止について	63
初期設定を変える	64
外部機器と接続する	66

10章 ご参考に

充電池について	69
「故障かな?」と思ったら	70
こんな表示がでたら	72
音楽著作権について	73
MDのシステム上の制約	74
MDについて	75
仕様について	76
別売品について	78
お手入れについて	78
保証とアフターサービス	79
お客様ご相談窓口一覧表	80

- カタログおよび包装箱に表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。
- この製品は、ドルビーラポラトリーズ ライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前に

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

 <p>この記号は、<u>しては</u>いけ<u>ない</u>ことを表しています。</p>
 <p>この記号は、<u>しな</u>ければ<u>なら</u>ないことを表しています。</p>
 <p>この記号は、<u>気</u>をつける<u>必要</u>があることを表しています。</p>

⚠ 危険

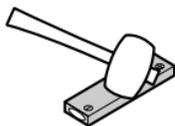
充電電池について

漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。

火の中へ入れたり、分解・加熱しない



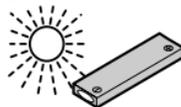
釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない



充電電池に貼ってある外装カバー(被覆)をはがしたり、傷つけない



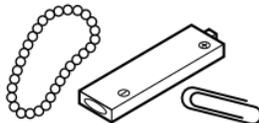
火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置しない



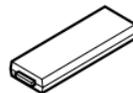
付属の充電電池は、本体以外で充電したり、使用しない



ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯・保管しない



充電電池を持ち運んだり、保管するときは、付属の充電電池ケースへ入れてください



ショートすることがあります。

充電電池の液がもれて目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください



目に傷害を与える恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠警告

本機について

自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを絶対に使わない、MDポータブルレコーダーの操作をしない



交通事故の原因となります。

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎない（特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。）



交通事故の原因となります。

MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない



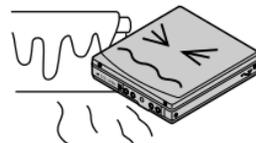
火災・感電の原因となります。

キャビネットを分解・改造しない



火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない



火災・感電の原因となります。

指定以外のACアダプターや充電スタンド、カー電源アダプターなどを使用しない



火災・事故の原因となります。

⚠ 警告

充電池について

充電の際に所定の充電時間をこえても充電が完了しない場合には、充電をやめてください



発熱・破裂・発火の原因となります。

充電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください



漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

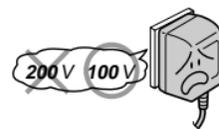
充電池の使用や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください



故障の原因となります。

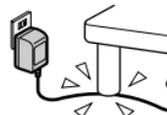
ACアダプターについて

AC100V以外の電圧で使用しない



火災・感電の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重い物を乗せたり、加熱したり、引っばったりしない



破損により、火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。

コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください



雷が鳴りだしたら...

安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください



火災・感電・故障の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠️ 警告

異常が起きたら

次のようなときは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてから販売店に修理を依頼してください



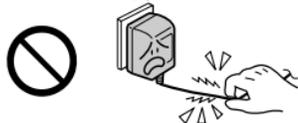
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったとき
本機を落としたり、衝撃を与えたり、キャビネットを破損したとき（特に充電池ボタンが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。）
ACアダプター、充電スタンド、充電池などが破損したとき
動作がおかしくなったとき
異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき

⚠️ 注意

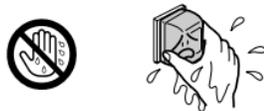
ACアダプターについて

コンセントから抜くときは、コードを引っばらない



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で抜き差ししない



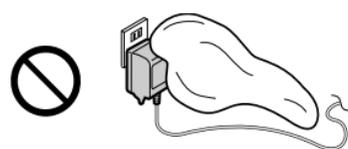
感電の原因となることがあります。

コードを熱器具に近づけない



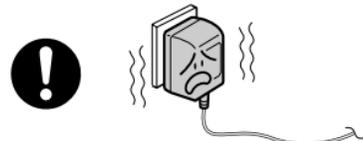
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは、使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

本機について

極端に寒い所や火気の近くに置かない



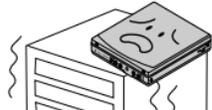
火災・事故の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内)や、暖房器具の近くに置かない



キャビネットが変形・変色し、火災・事故の原因となることがあります。

不安定な所に置かない



落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような所に置かない



火災・事故の原因となることがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しない



発火・故障の原因となることがあります。

使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで長時間使用しない



やけどの原因となることがあります。

ズボンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力が加わるような所に入れない



キャビネットの変形・故障の原因となることがあります。

音量の設定に十分気をつける



思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠️ 注意

充電電池について

充電電池は誤った使いかたをしますと、発熱・破裂・発火・破損・充電電池の性能や寿命を低下させる原因となります。必ず次のことを守ってください。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない



直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しない



水や海水などにつけたり、濡らさない



充電電池の充電温度範囲は、5～35℃です。この温度範囲以外で充電しないでください



充電電池の液がもれて皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください



皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

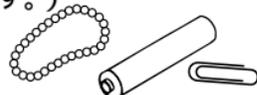
乾電池について

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。必ず次のことを守ってください。

充電したり、分解しない



金属小物（かぎ・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない（乾電池入りの乾電池ケースも同様です。）



ショートすることがあります。

水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない



乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、乾電池ケースから取り出してください



液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となることがあります。

乾電池の液がもれて身体についたときは、水でよく洗い流してください(液がもれた場合は、本機についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。)



プラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れる



お手入れのときは

安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電機などをはずしてください



火災の原因となることがあります。

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときもしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おもな特長

長時間モード対応

2倍・4倍長時間録音/再生

MD 新規格対応により、ステレオで従来の2倍、4倍の録音ができます。
また、長時間録音されたMDの再生ができます。

3色光サイン

3色LEDの点灯や点滅により、使用状況がわかります。

簡単・便利な充電スタンド

充電スタンドに置くだけで、充電することができます。

光る液晶リモコン

バックライトにより暗いところでもリモコンの液晶表示が見えます。

パソコンリンク対応

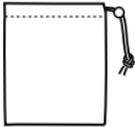
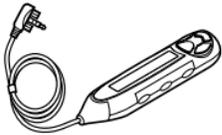
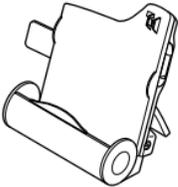
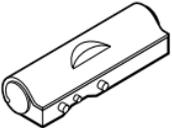
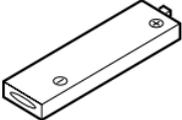
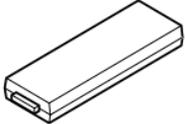
別売のMD-パソコン接続キットで、USB接続によりパソコンからMDへのデジタル録音ができます。
さらに、文字入力・編集・ラベル印刷・ライブラリ管理もできます。

リフレッシュ機能搭載

充電電池のメモリー効果が起こらないように、自動的に充電電池をリフレッシュ(☞ P.21)します。

付属品について

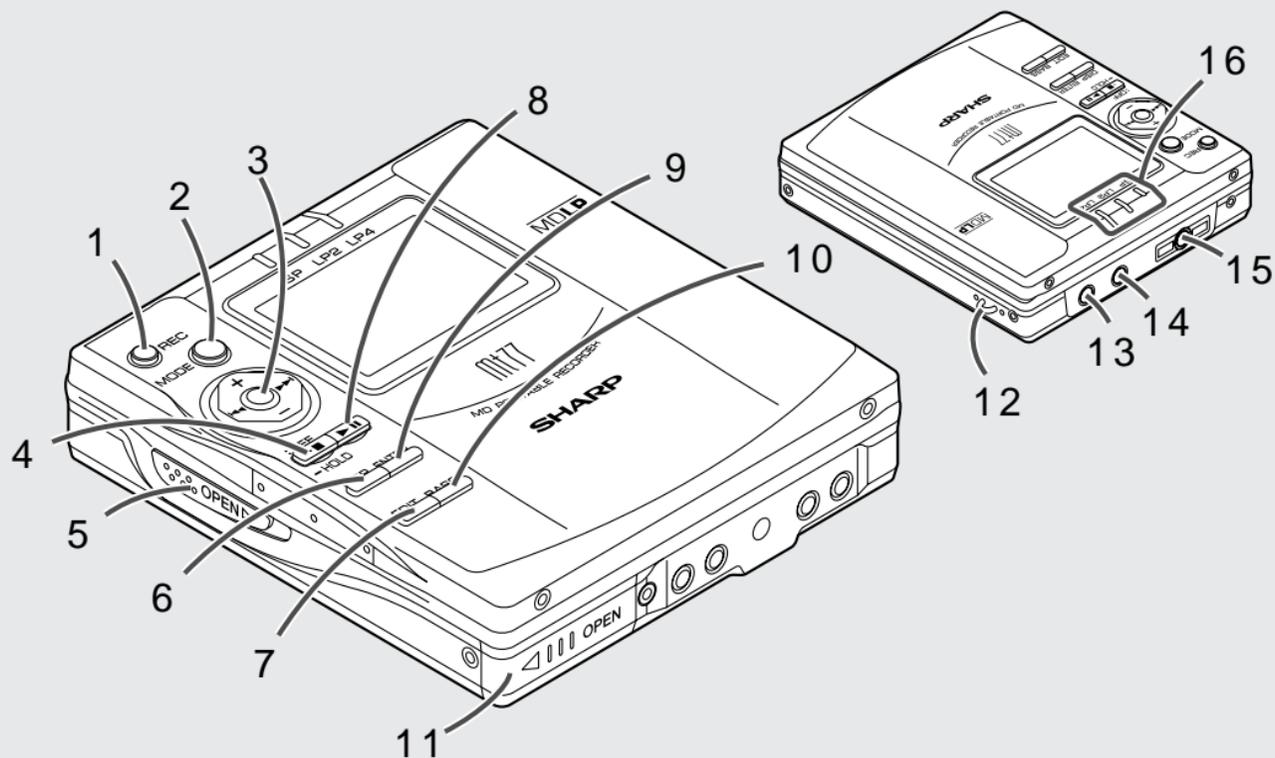
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

 ACアダプター×1	 キャリング ケース×1	 ヘッドホン×1 (インピーダンス32)	 リモコン×1	 充電スタンド×1
 乾電池ケース×1	 充電電池×1	 充電電池ケース×1	 接続コード×1	取扱説明書×1 保証書×1

ACアダプターの形は、イラストと異なることがあります。

各部のなまえ

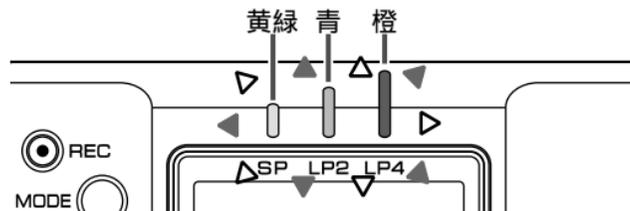
本体



- 1 録音ボタン【28, 45】
(録音 / 曲番追加)
- 2 モード切替ボタン【38, 42, 64】
(録音モード / 再生モード / 設定メニュー変更)
- 3 音量調整 / 早戻し / 早送りボタン
【28, 32, 35, 36, 54, 56】
(音量調整 / カーソル移動 / 早戻し / 早送り / 曲番選択 / 録音レベル調整 / 文字選択 / 設定変更)
- 4 停止 / 電源切 / 誤動作防止ボタン
【30, 63, 64】
- 5 MD 取出しつまみ【24】
- 6 表示切替ボタン【52, 54】
(表示切替 / 文字の種類を選択)
- 7 エディットボタン【46, 51, 54】
(オートマーク設定 / タイムオートマーク設定 / 編集メニュー選択)
- 8 再生 / 一時停止ボタン【28, 30】
- 9 エンターボタン【39, 40, 44】
(シンクロ録音 / 2倍速早聞き / 操作の実行)
- 10 重低音ボタン【32, 56】
(重低音 / 文字消去)
- 11 充電電池ボタン【20】
- 12 ハンドストラップ取り付け口

- 13 光 / ライン入力端子【26, 27】
- 14 マイク入力端子【48】
- 15 リモコン / ヘッドホン出力端子【32】
- 16 3色LED

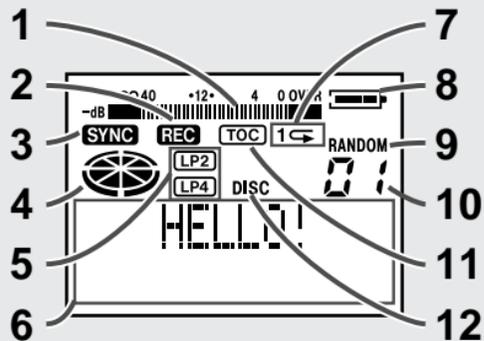
いろいろな状態を3色の光で表します。



充電	黄緑から順番に点灯
リフレッシュ	全点灯後、橙から順番に早く消灯
再生	再生されているモードの色が点滅
録音	録音しているモードの色が点滅
早送り	黄緑から順番に点滅
早戻し	橙から順番に点滅
音量 (+)	黄緑から順番に点灯
音量 (-)	全点灯後、橙から順番に消灯
TOC	読み込み中：ランダムに点滅

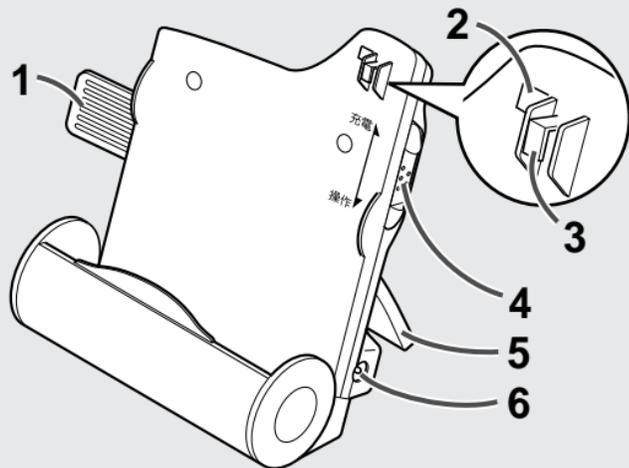
各部のなまえ（続き）

本体液晶部



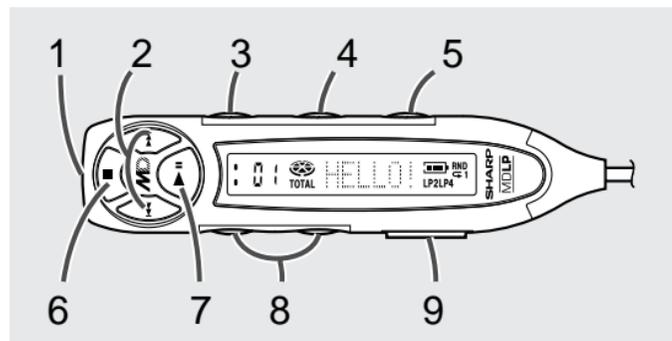
- | | |
|------------|------------|
| 1 レベルメーター | 7 リpeat表示 |
| 2 録音表示 | 8 電池残量表示 |
| 3 シンクロ録音表示 | 9 ランダム表示 |
| 4 動作表示 | 10 曲番表示部 |
| 5 長時間モード表示 | 11 TOC 表示 |
| 6 文字情報表示部 | 12 ディスク名表示 |

充電スタンド



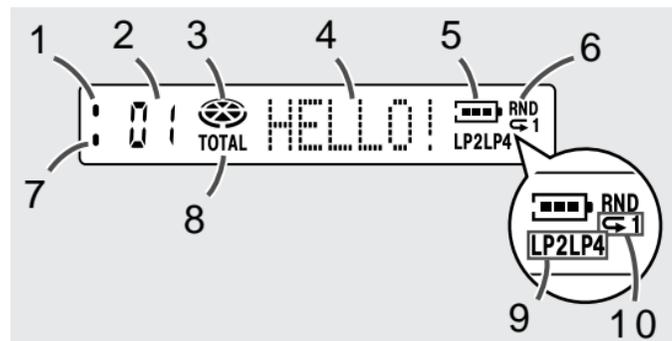
- | |
|-----------------------------|
| 1 リモコンホルダー |
| リモコンをかけることができます。 |
| 2 ロック検出端子 |
| 3 本体固定用ツメ |
| 4 充電 / 操作切替スイッチ【18, 20, 22】 |
| 5 スタンド |
| 6 ACアダプター接続端子 |

リモコン



- 1 ヘッドホン端子【32】
- 2 早送り/早戻しボタン【35, 53, 64】
(早送り/早戻し/曲番選択/設定変更)
- 3 表示切り換えボタン【52, 54】
- 4 再生モードボタン【38】
(再生モード/設定メニュー変更)
- 5 重低音ボタン【32, 45】
(重低音/曲番追加)
- 6 停止/電源切ボタン【30】
- 7 再生/一時停止ボタン【28, 30】
- 8 音量調整ボタン【32】
- 9 誤動作防止スイッチ (HOLD)^{ホールド}【63】

リモコン液晶部

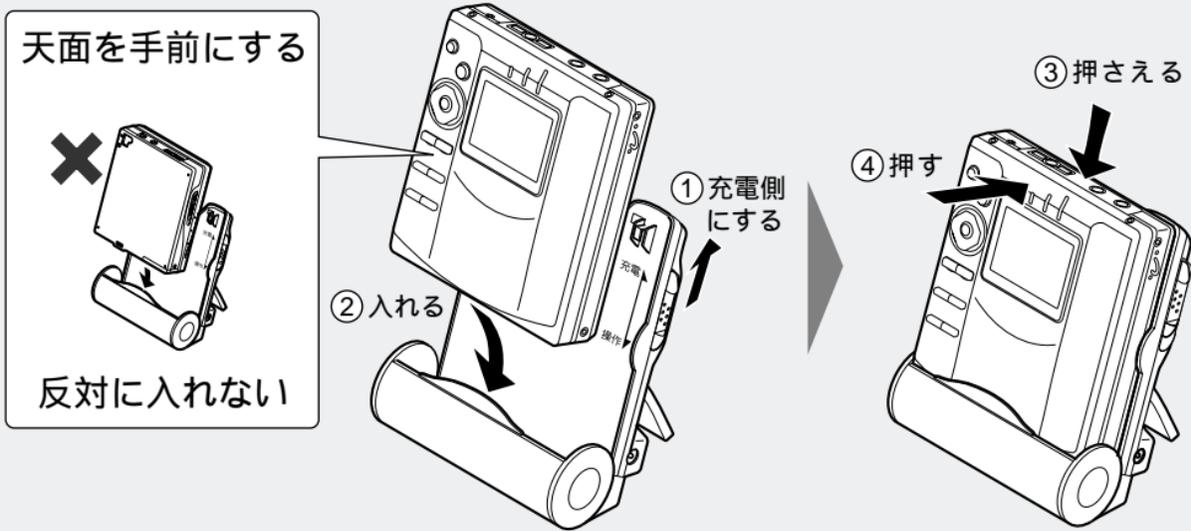


- 1 録音表示
- 2 曲番表示部
- 3 動作表示
- 4 文字情報表示部
- 5 電池残量表示
- 6 ランダム表示
- 7 シンクロ録音表示
- 8 総曲数表示
- 9 長時間モード表示
- 10 リpeat表示

充電スタンドについて

充電スタンドの使いかたには、充電器として充電電池を充電する使いかたと、本体と充電スタンドを一体化してACアダプターで使う2つの使いかたがあります。

取り付けかた

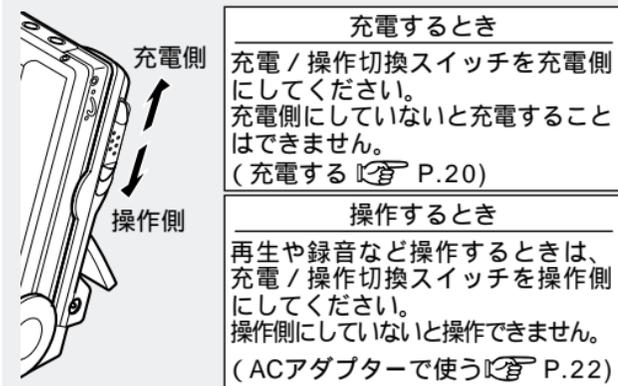


【注意】

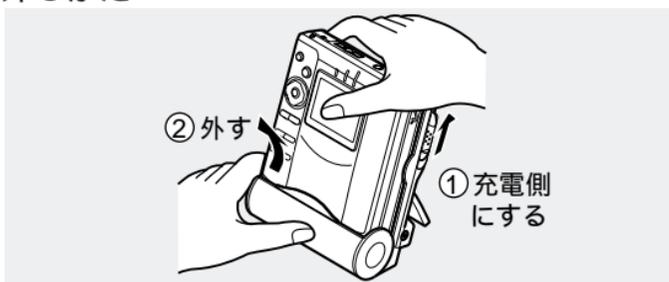
- 本体を充電スタンドに取り付けるときは、充電スタンドの充電 / 操作切換スイッチを必ず充電側 (RELEASE) にしてください。操作側 (LOCK) にしたまま無理に取り付けようとすると本体固定用のツメが破損する恐れがあります。

- 本体を充電スタンドに置くときは、必ず天面を手前にしてください。反対にして無理に押し込むと、破損や発熱の原因となります。
- 充電 / 操作切換スイッチを充電側にした状態で操作すると“CHARGE_{チャージ}mode_{モード}”と表示し、操作は受けつけません。

充電 / 操作切換スイッチの使いかた



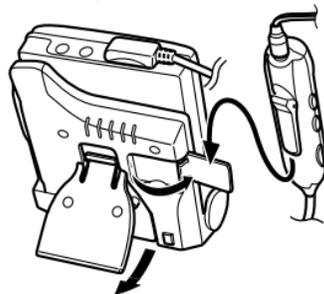
外しかた



充電スタンドの充電 / 操作切換スイッチを充電側にしてください。

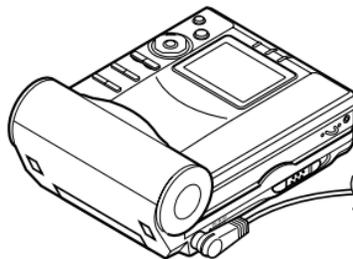
充電スタンドの立てかたと、リモコンのかけかた

お使いにならないときは、リモコンをリモコンホルダーにかけておく便利です。

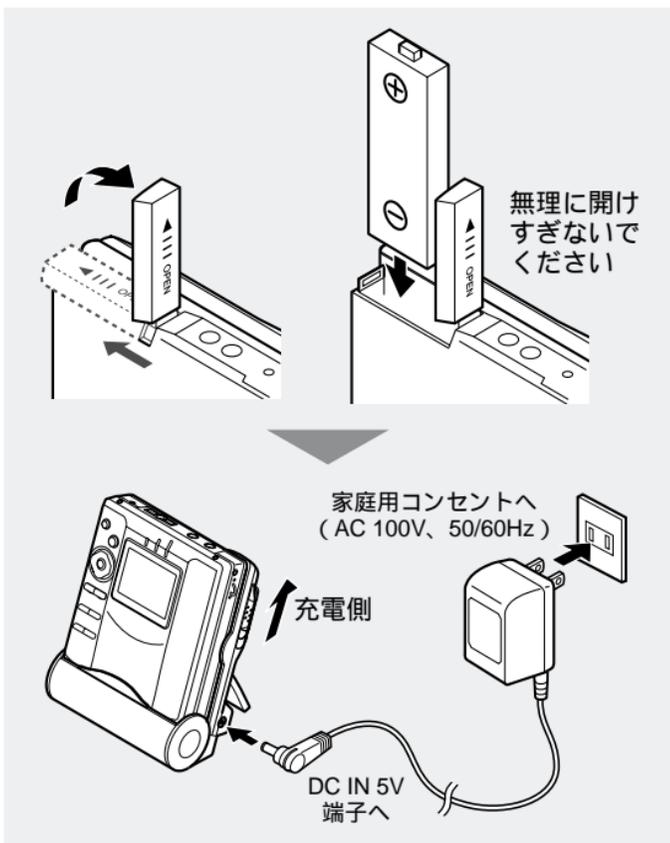


操作するときは

ACアダプターでお使いになるときは、スタンドは立てずに横に倒した状態でお使いください。



充電する



お買いあげ時は、充電電池は充電されていません。
お使いになる前に、必ず充電してください。

- 1 充電電池を入れる。
- 2 充電 / 操作切換スイッチを充電側にする。
- 3 ACアダプターをつないで、本体を充電スタンドに置く。

- 動作中や停止中など本体に電源が入っているときや充電 / 操作スイッチが操作側になっているときは、充電できません。
- 充電中や充電後、充電スタンドや本体が暖かくなることがありますが、異常ではありません。

液晶表示について

本体を充電スタンドに置くと、本体の動作状態を液晶に表示します。

液晶表示	動作状態
 <p>スクロール</p>	充電中です。
 <p>消灯</p>	すでに充電が完了しています。 または、 本体が充電スタンドに正しく置かれていなかったり、充電端子が汚れていると充電状態になりません。（綿棒でから拭きしてください。）
 <p>リフレッシュ “REFRESH” を表示</p>	リフレッシュ放電しています。 充電池のメモリー効果を読み取り、必要に応じて充電池を放電しリフレッシュ後は自動的に充電に切り換わります。（このとき、電池残量表示が点灯します。）

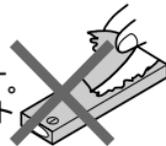
充電時間について

約3時間30分すると充電が完了し、電池残量表示が消えます。

- 使い切った状態から充電すると、約95%の充電状態となります。
- 充電は5 ~ 35 の範囲で行ってください。
上記以外の温度では、正常に充電状態に入らないことがあります。
- この製品は、0 ~ 40 の場所でお使いください。
- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしておいても差しつかえありません。

【注意】

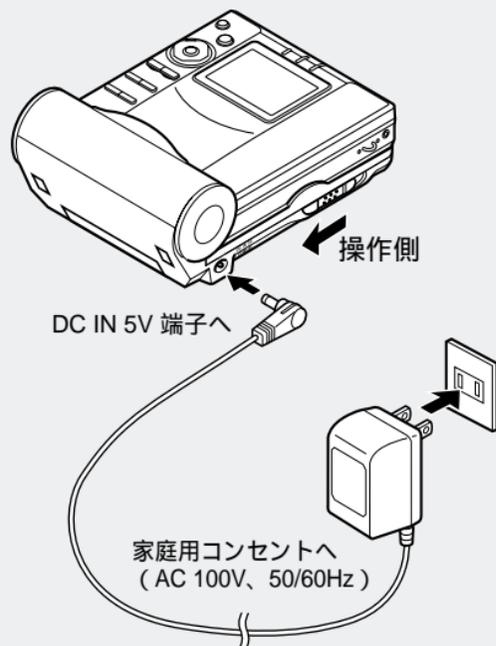
- AD-N55BT以外の充電池は、使用しないでください。
- 充電池の外装カバー（被覆）は、はがさないでください。
発熱・発火・破裂の原因となります。
- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。



リフレッシュについて

充電池を使い切らないまま充電をくり返すと、電池持続時間が短くなります。
その防止のために、充電池を自動的に放電させ、リフレッシュさせています。

ACアダプターで使う



1 本体を充電スタンドに取り付ける。

2 充電 / 操作切換スイッチを操作側にする。

3 ACアダプターをつなぐ。

充電 / 操作切換スイッチを操作側にしていないと操作はできません。

(充電 / 操作切換スイッチの使いかた  P.19)

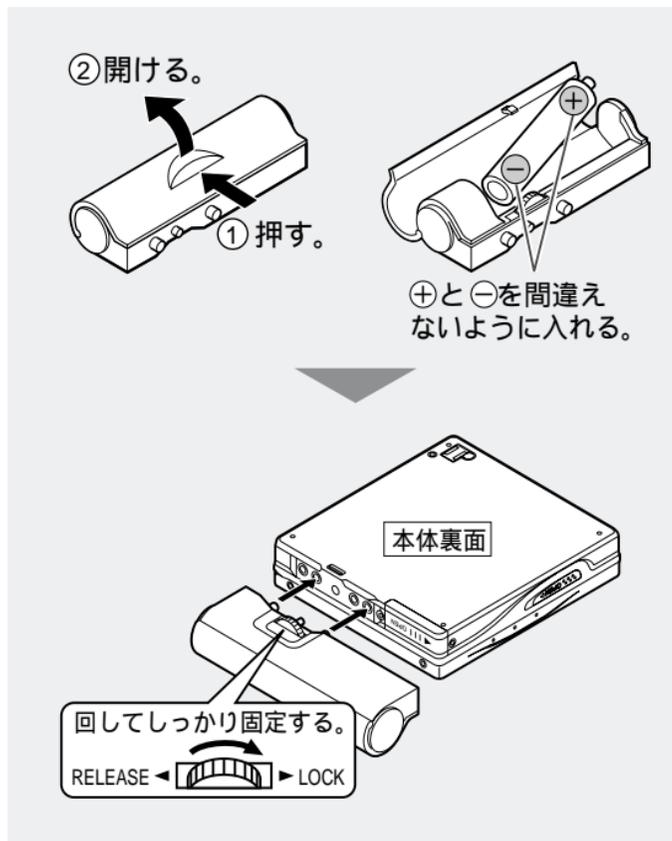
【注意】

- 充電が入っていない状態で本体を充電スタンドに置くと、デモモードになることがあります。デモモードを解除するには、停止または再生ボタンを押すか、充電 / 操作切換スイッチを操作側にしてください。
- ACアダプターで長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。

【お知らせ】

ACアダプターを使って再生しているときに停電になったときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、停電復帰後、再生が自動的に始まる場合があります。

乾電池で使う



乾電池は、単3形アルカリ乾電池(LR6)を使用してください。乾電池で使うときは、本体に充電電池を必ず入れておいてください。(乾電池のみで使用すると、動作状態によっては電圧が急激に下がるため、録音や再生が正しくできないことがあります。)

1 乾電池ケースに乾電池を入れる。

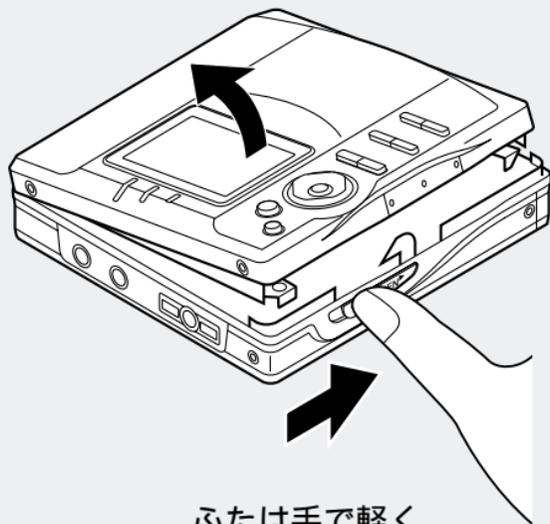
2 乾電池ケースを本体に取り付ける。

注意

乾電池ケースには、充電電池(ニカド電池等)を使用しないでください。

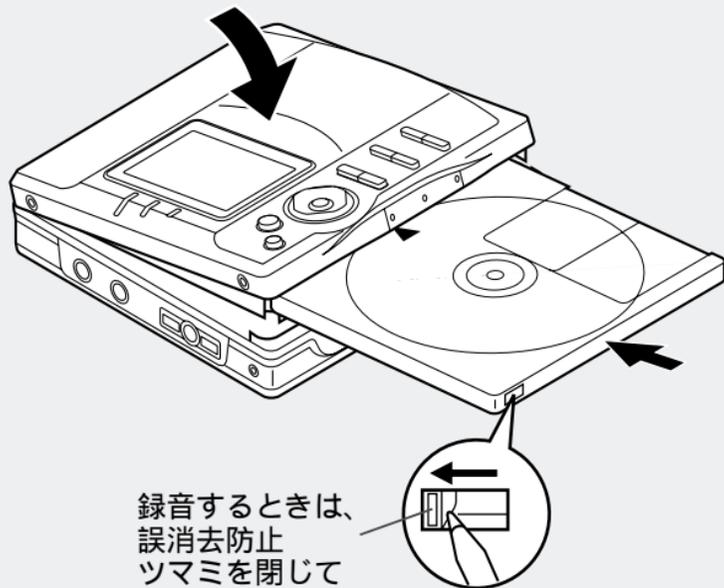
MDを入れる

- ① MD取出しつまみを矢印の方向に動かして、ふたを開ける



ふたは手で軽く開いてください。

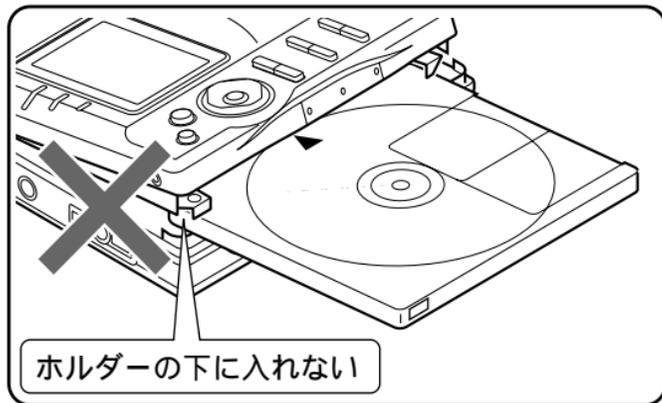
- ② MDを入れて、ふたを閉める



録音するときは、誤消去防止ツマミを閉じておいてください

MDの挿入時・取出し時の注意

- MDを入れるときは、ふたを無理に開けたり、MDを無理に押し込まないでください。
また、MDをホルダーの下に入れないでください。
故障の原因となります。
- MDが入りにくいときや、ふたが確実に閉まらないときは、一度MDを取り出し、再度入れ直してください。



- MDを取り出すときは、電源を切ったあとに行ってください。

TOC や “^{トック エディット}TOC EDIT!” を表示中は、ふたがロックされ、開けることはできません。
無理にMD取出しつまみを動かすと、故障の原因となります。

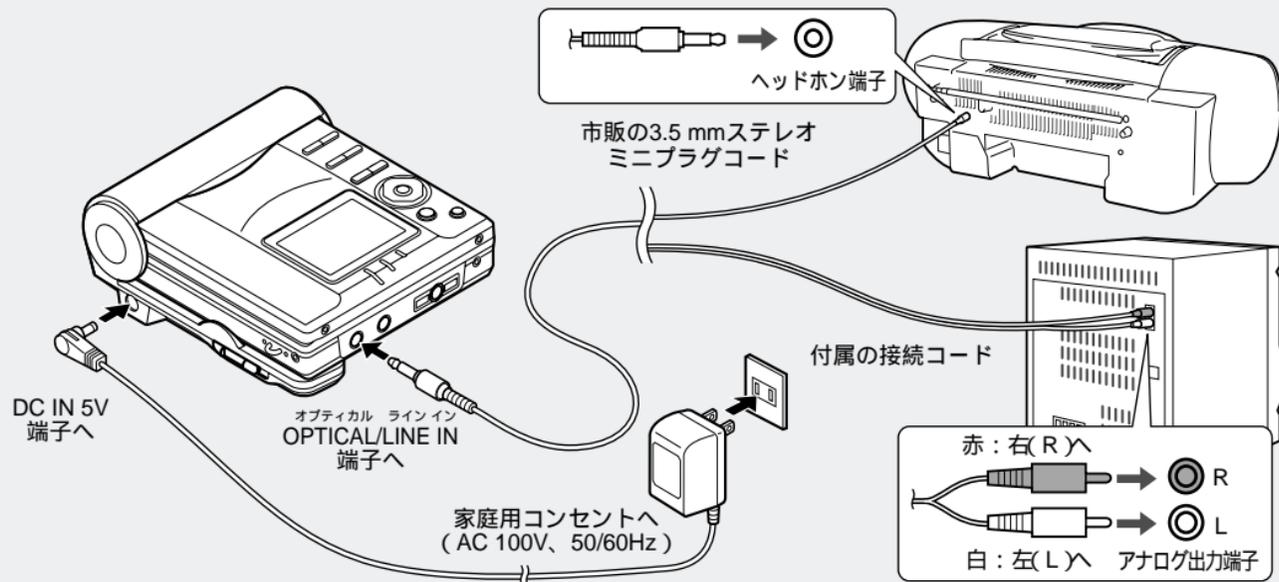


録音する機器をつなぐ

録音するときは、このようにつないでください。

アナログ出力端子またはヘッドホン端子の機器につなぐとき

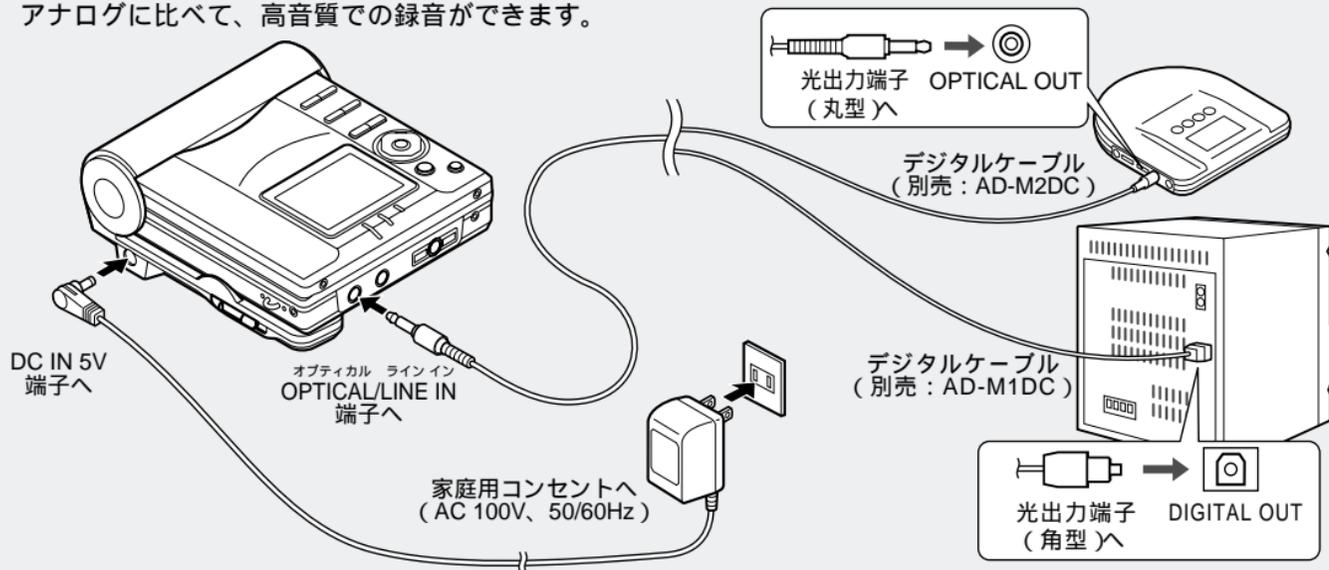
ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。



- 本体をACアダプターで使うときは、充電スタンドの充電 / 操作切換スイッチを操作側にしてください。(P.19)
- プラグは、最後まで確実に差し込んでください。
- ステレオやCDプレーヤーなどから録音するときは、MIC IN 端子には何も接続しないでください。

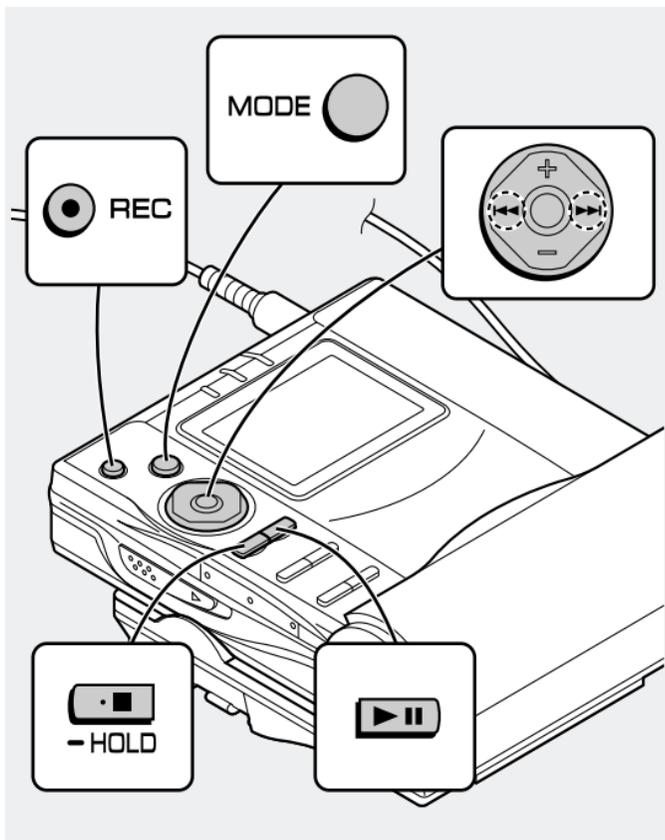
DIGITAL OUT 端子またはOPTICAL OUT端子の機器につなぐとき

CDやMDのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。
アナログに比べて、高音質での録音ができます。



- 本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーやDATデッキなどサンプリング周波数の違う(32kHz、48kHz)デジタル機器に接続しても、自動的に44.1kHz(本機の周波数)に変換してデジタル録音できます。
- この製品のデジタル入力には、オーディオ用(デジタルオーディオインターフェースに適合した機器)をお使いください。

MDに録音する



録音を始める前に...

ホールドが解除されているか確認する。(P.63)

- 1 MDを入れる。(P.24)
- 2 録音する機器をつなぐ。(P.26、P27)
- 3 ● REC を押す。
録音の一時停止状態になります。
- 4 接続した機器を再生する。
- 5 ◀▶ を押して、録音レベルを調整する。
- 6 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
(録音したい曲の頭出しをしておく。)

7 MODE  をくり返し押して、
録音モードを選ぶ。( P.42)

SP/STEREO (ステレオ録音)

LP2 REC (2倍長時間録音)

LP4 REC (4倍長時間録音)

SP/MONO (モノラル録音)

8  を押す。

9 接続した機器を再生して、録音を始める。

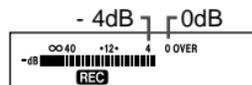
お知らせ

- 録音するときは、ACアダプターで使用することをおすすめします。このとき、充電済みの電池を入れておいてください。万一停電になっても、電源は自動的に充電池に切り換わります。
- 録音中に音量を調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中には低音の調整はできません。

録音レベルについて

アナログ録音のとき

- 最も大きなレベルのとき、
- 4dBから0dBの間に振れるように調整します。



デジタル録音のとき

- +12 ~ - 12dBの範囲で、1dBごとの調整ができます。
- CDから録音するときは、通常は“D.L 0dB”に、CSチューナーなどから録音するときは、“D.L +8dB”を目安に設定します。
- 録音レベルを一度調整すると、設定内容は録音を停止しても記憶されます。(初期設定を変える  P.64)



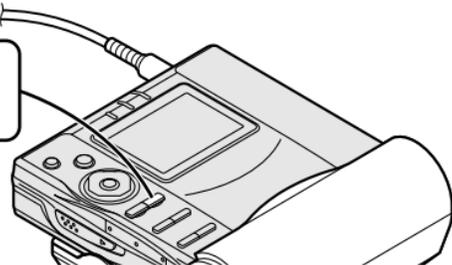
試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

MDに録音する（続き）

一時停止する

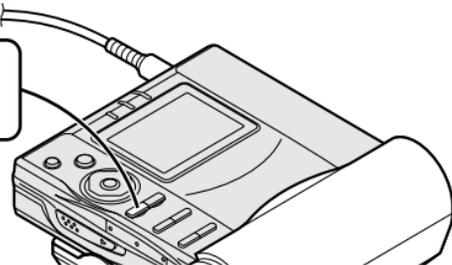
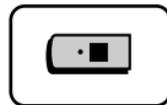
録音中に...



もう一度押すと、録音が始まります。
このとき、曲番が1つ増えます。

停止する

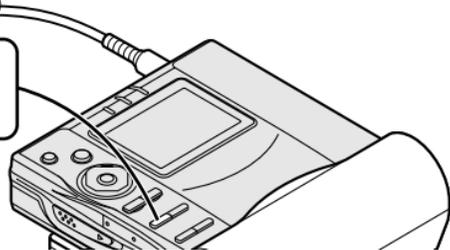
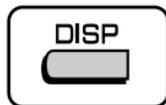
録音中に...



停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

録音の残り時間を確かめる

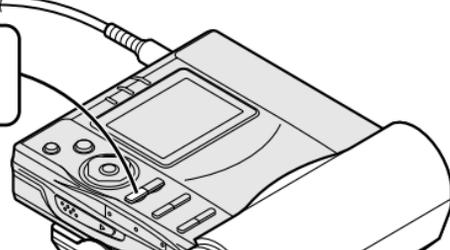
録音中に...



もう一度押すと、元の表示に戻ります。

電源を切る

停止中に...



TOC情報を記録（P.31）したあと、電源が切れます。

トック T C (Table of Contents) について

TOCとは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。録音や編集 (P.54) をすると、画面に **TOC** が表示されます。

TOCの表示について



録音や編集をすると、**TOC** が表示されます。これは、TOCの情報が変更されたことを表しています。この時点では、まだMDには記録されていません。

TOC (TOCの内容が変更中)や“**TOC EDIT!**” (新しいTOCの内容を書き込み中)が表示されているときは、次のことに注意してください。TOCが正しく記録されずに、録音や編集した内容が消えます。

- ・本体に衝撃を与えない。
- ・ACアダプターを抜かない。
- ・充電電池や乾電池を抜かない。

TOCはいつ記録される?



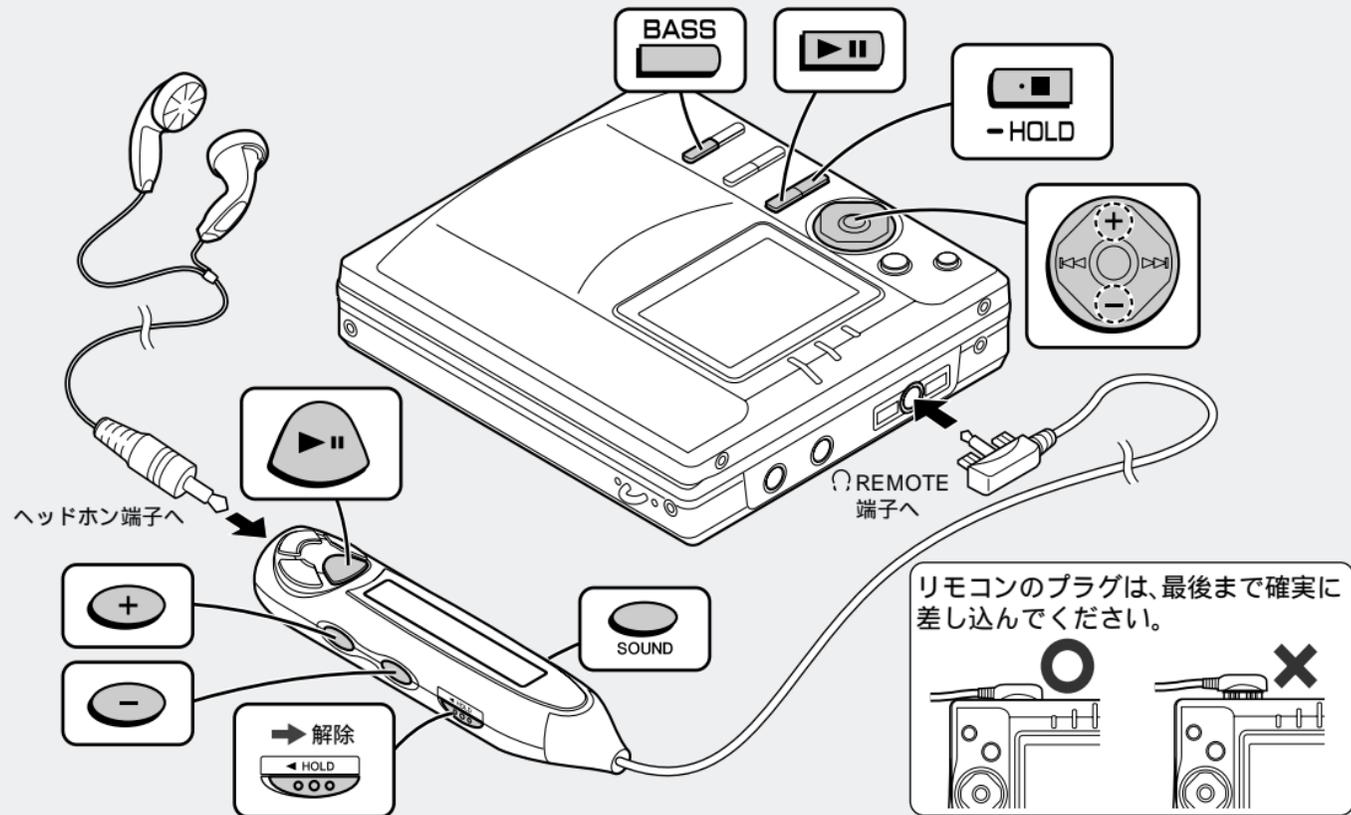
TOCは停止中に **TOC** を押すと、自動的に記録され、電源が切れます。記録中は **TOC** が点滅します。

お知らせ

ACアダプターのみを使用して録音 (トック情報が書き込まれていない状態) しているときに停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。充電された充電電池が入っていると、停電しても充電電池に自動的に切り換わり、録音を完了することができます。

- **TOC** が表示されているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。
- TOCの書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。

MDを聞く



再生を始める前に...

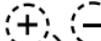
ホールドが解除されているか確認する。(P.63)

1 本体にリモコンとヘッドホンをつなく。

2 MDを入れる。(P.24)

3  を押して、再生を始める。

再生専用MDや誤消去防止状態にしたMDを入れたときは、 ボタンを押さなくても再生が自動的に始まります。(オートプレイ P.64)

4  を押して、音量を調整する。



5  を押して、低音を調整する。

BASS 1	少し強調
BASS 2	より強調
BASS 3	さらに強調
BASS OFF	強調解除

音のひずみについて

低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、低音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。

音量レベルを“23”以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

音とびについて

この製品は振動に対して、音とびしにくくなっていますが、ジョギング中など連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽もヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、他人の迷惑にならないように注意しましょう。

お知らせ

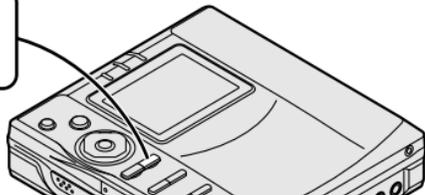
異なる録音モードの曲が録音されていても、自動的に録音されたときの録音モードで再生されます。

(P.42)

MDを聞く（続き）

一時停止する

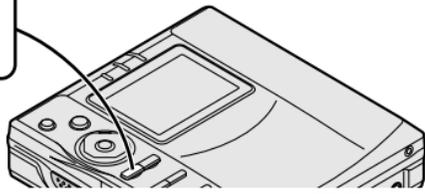
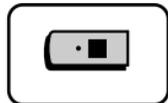
再生中に...



もう一度押すと、再生が始まります。

停止する

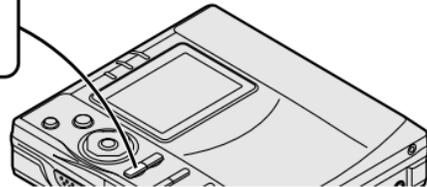
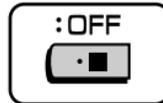
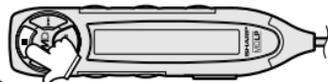
再生中に...



停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

電源を切る

停止中に...

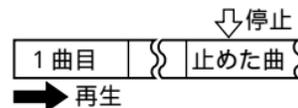


リジューム機能について

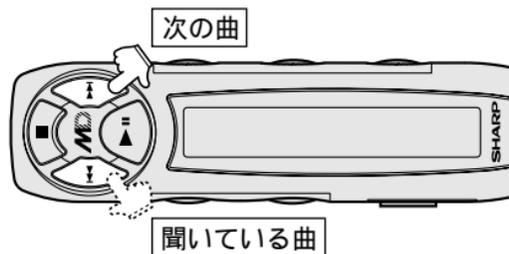
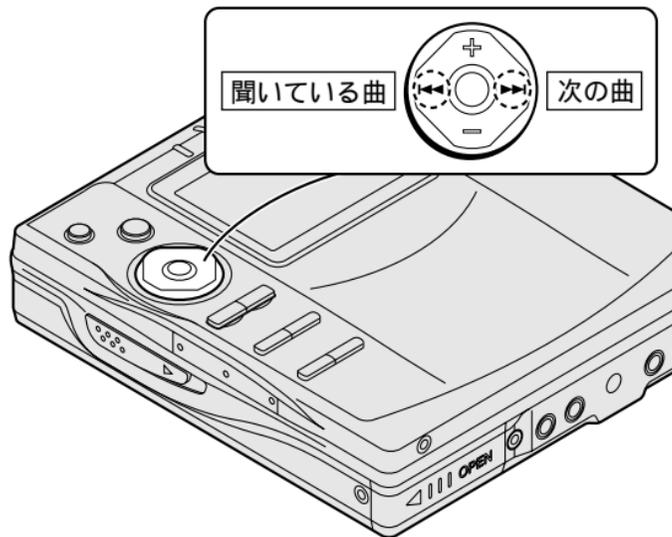
再生を停止したあと、MDを取り出さずに再び再生すると、止めた位置から再生が始まります。



ただし、MDを取り出すと、1曲目から再生が始まります。



頭出しをする



今聞いている曲の頭から再生するには
再生中に、 を一回押す。

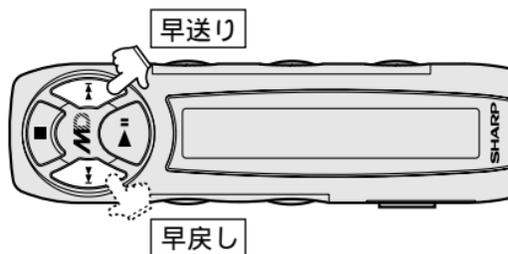
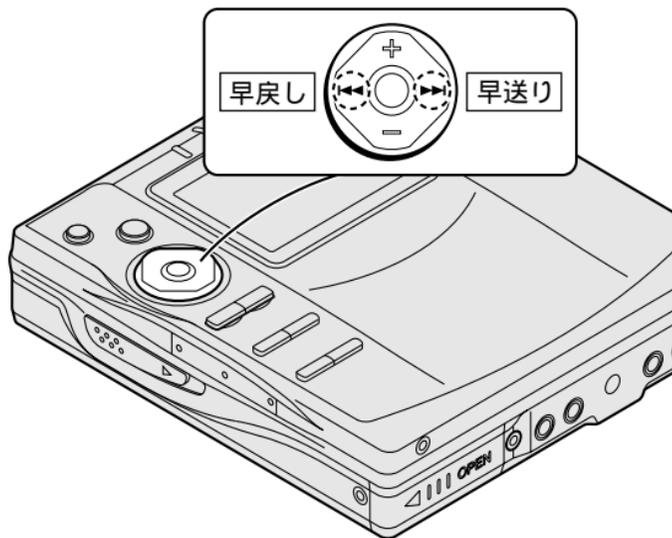
次の曲の頭から再生するには
再生中に、 を一回押す。

前の曲番を選ぶには
停止中に、 を一回押す。
押したままにすると、曲番が連続して変わります。

次の曲番を選ぶには
停止中に、 を一回押す。
押したままにすると、曲番が連続して変わります。

停止中に聞きたい曲番を表示させたあと  を押すと、その曲の頭から再生が始まります。

聞きたい所をさがす



曲を早く送るには（早送り）

再生中に、 を押し続ける。

- 指を離すと再生に戻ります。
- 最後の曲の終わりまで行くと、一時停止状態になります。

曲を早く戻すには（早戻し）

再生中に、 を押し続ける。

- 指を離すと再生に戻ります。
- 最初の曲の頭まで行くと、再生状態になります。

一時停止中に、早送り・早戻しの操作をすると、再生中の操作よりも早くさがせます。

- このとき、音は出ませんので、表示時間を目安にしてください。
- 指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

イントロ再生をする

各曲を約5秒ずつ聞くことができます。

停止中または一時停止中に、 を2秒以上押す。

INTRO PLAY

(本体)

12  INTRO 

(リモコン)

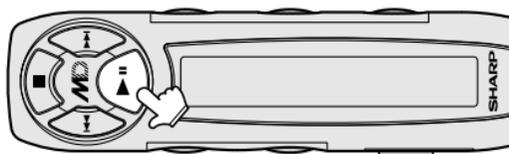
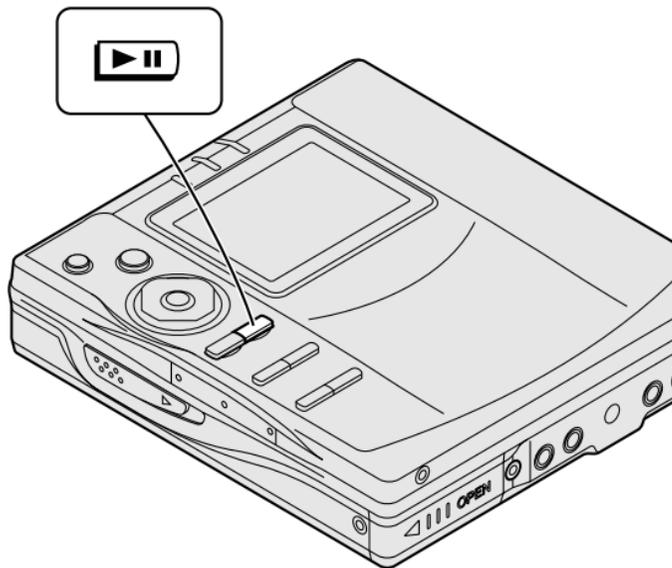
再生モードが、ランダム再生・ランダムリピート再生・1曲リピート再生に設定されているときは、イントロ再生はできません。
このときは、通常の再生をはじめます。

お知らせ

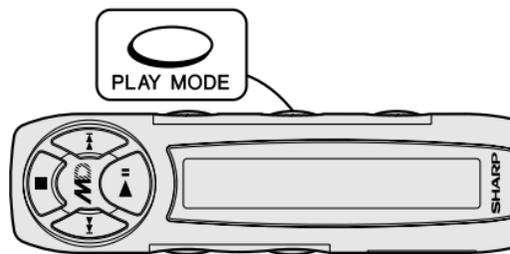
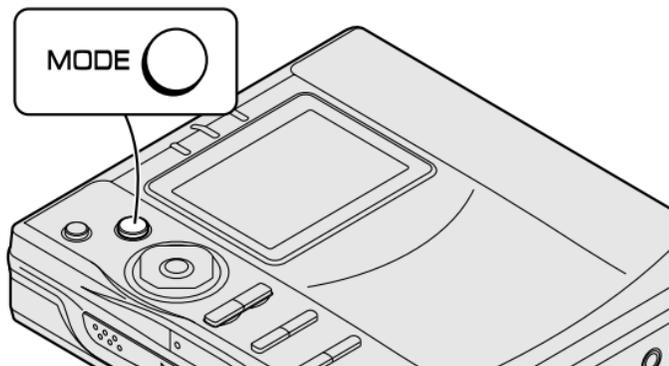
“^{イントロ}INTRO ^{プレイ}PLAY (^{イントロ}INTRO)” の表示時間は、一定ではありません。

通常の再生に戻すには

 を押す。



ランダム再生やリピート再生をする



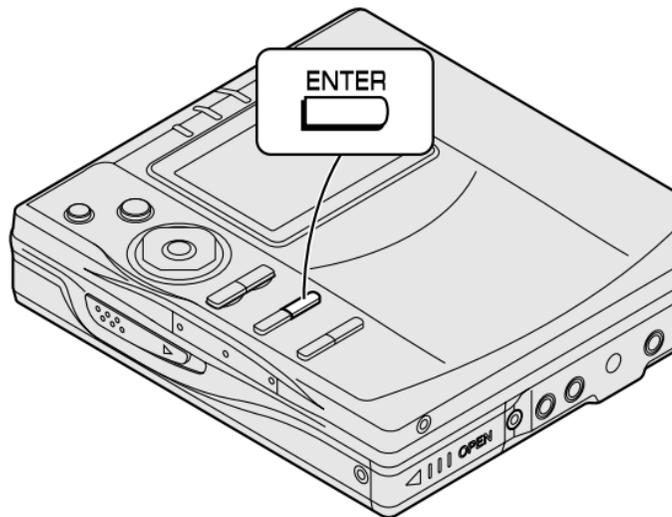
再生中に、MODE  をくり返し押して、再生モードを選ぶ。

RANDOM	ランダム再生 全曲を順不同に1回ずつ再生したあと、自動的に停止します。 (自分で選曲はできません。)
 RANDOM	ランダムリピート再生 全曲を順不同に選んでくり返し再生します。
	全曲リピート再生 全曲をくり返し再生します。
	1曲リピート再生 1曲をくり返し再生します。
表示なし	通常再生

- 停止中に操作したときは、再生モードを選んだあと、再生を始めてください。
- **TOC** 表示がでているときは、再生モードの変更はできません。

- それぞれのリピート再生は、再生を止めるまで続きます。切り忘れに注意してください。
- ランダム再生・ランダムリピート再生・1曲リピート再生中は、聞いている曲をこえて早送り・早戻しはできません。
- ランダム再生・ランダムリピート再生のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。

2倍速早聞き再生をする



モノラルモードで録音されたMDなら、2倍速で聞くことができます。(モノラル録音 P.42)

再生中に、 を押す。

FAST PLAY

- 早聞き再生中に、ステレオモードで録音された曲番になったときは、早聞き再生が解除されます。
- 録音内容によっては、聞き取りにくいことがあります。

早聞き再生を一時停止するには

再生中に、 を押す。

もう一度押すと、早聞き再生します。

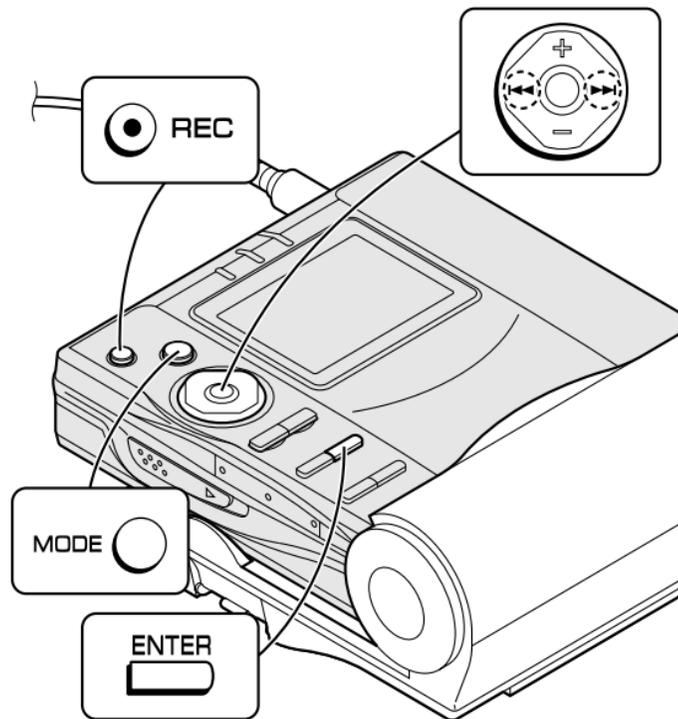
通常の再生に戻すには

 を押す。

再生側に合わせて、録音を始める

(シンクロ録音)

接続した機器の音を検知して、自動的に録音を開始したり、一時停止します。



- 1 ● REC を押す。
録音の一時停止状態になります。
- 2 接続した機器を再生する。
- 3 ◀ ▶ を押して、録音レベルを調整する。
(☞ P.29)
- 4 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
(録音したい曲の頭出しをしておく。)
- 5 MODE ○ をくり返し押して、録音モードを選ぶ。(☞ P.42)
- 6 ENTER を押す。
シンクロ録音の一時停止状態になります。
- 7 接続した機器を再生する。
シンクロ録音が始まります。

一時停止について

接続した機器を停止すると一時停止になります。再び再生すると、続けて録音できます。

- オーディオ機器からの無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。
(録音開始後、約10秒間は一時停止しません。)
再び音声が入ると、自動的に録音が始まります。
- オーディオ機器からの再生信号によっては、正確な位置で録音開始や一時停止しないことがあります。
このようなときは、手動による録音を行ってください。
( P.28)

停止する

 を押す。

接続する機器の設定について

ポータブルCDやMDプレーヤーの中には、充電電池や乾電池で使うと光出力が出ないものがあります。その場合、これらのプレーヤーからは、デジタル録音できません。そのときは、AC電源を使用してください。また、音とびを防ぐ機能がついている機器では、そのスイッチを“切”にしておいてください。

長時間録音する

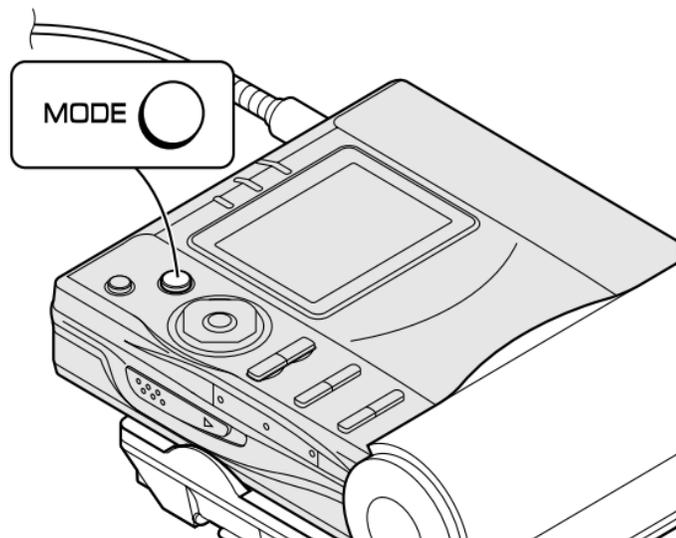
2倍・4倍長時間録音

ステレオ録音で2倍または、4倍の長時間録音ができます。

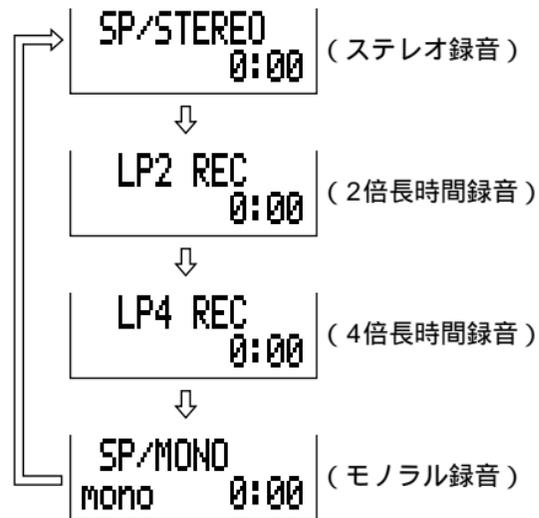
モノラル録音

モノラルでステレオ録音(SP/STEREO)の約2倍の時間、録音できます。

モノラルモードで録音すると、通常再生の2倍の早さで聞くことができます。(2倍速早聞き再生 P.39)



- 1 録音の一時停止中に、MODE  をくり返し押して、録音モードを選ぶ。
押すたびに切り換わります。



- 2 録音を開始する。

録音モードは、次に変更するまで変わりません。

お知らせ

- 1枚のMDにステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音を混ぜて録音することができます。
- モノラル録音では入力がステレオでも、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。また、録音中、ヘッドホンから聞こえる音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。
- 2倍・4倍長時間録音をした曲は、2倍・4倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、曲名の頭に“LP:”が表示され、無音状態となります。(機器によっては、動作・表示の異なる場合があります。)
- モノラル録音した曲は、モノラル再生に対応していない機器では再生できません。

録音モードについて

録音する際の録音モードをステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音、モノラル録音から選ぶことができます。録音モードにより録音可能時間が異なります。

80分のMDに録音する場合は、以下のようになります。

表示	録音モード	録音時間
SP/STEREO	ステレオ録音	最大 80分
LP2 REC	2倍長時間録音(ステレオ)	最大 160分
LP4 REC	4倍長時間録音(ステレオ)	最大 320分
SP/MONO	モノラル録音	最大 160分

4倍長時間録音(LP4)についてのご注意

4倍長時間録音(LP4)は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が入る場合があります。

音質を重視する録音を行うときは、ステレオ録音(SP)または2倍長時間録音(LP2)をおすすめします。

ATRAC(音声圧縮技術)について

アトラック
ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。

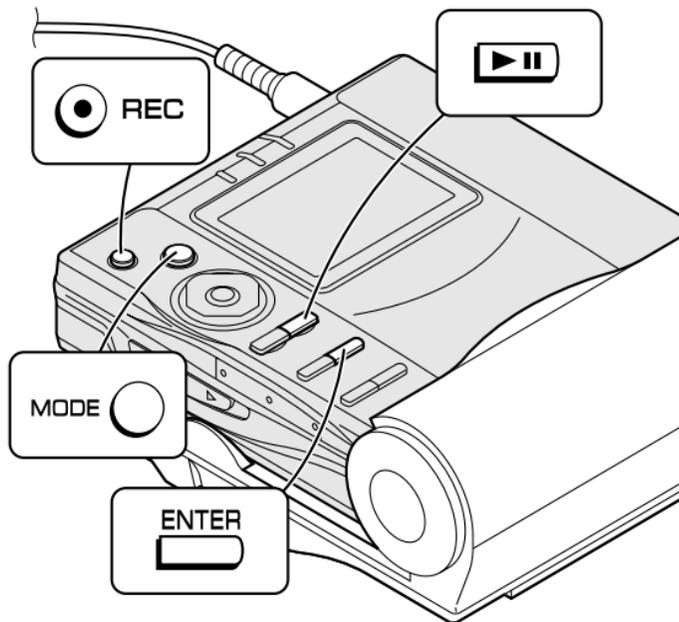
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。

この機器では音楽データを約1/10または1/20に圧縮する、アトラックATRAC3という圧縮方式も採用しています。この方式を用いることにより、ステレオで2倍・4倍の長時間録音を可能としています。

曲の途中から録音する

すでに録音されている曲の途中から、新たに録音することができます。

- 新たに録音を開始した位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。ご注意ください。
- 消したくない曲が停止位置以降にあるときは、その曲を停止位置よりも前に移動させておいてください。(P.62)



1 新たに録音を開始したい位置で、再生の一時停止状態にする。

2  REC を押す。

ERASE OK?
OK → ENTER

操作を中止するときは、 を押します。

3  を押す。

停止位置以降すべてを消去します。

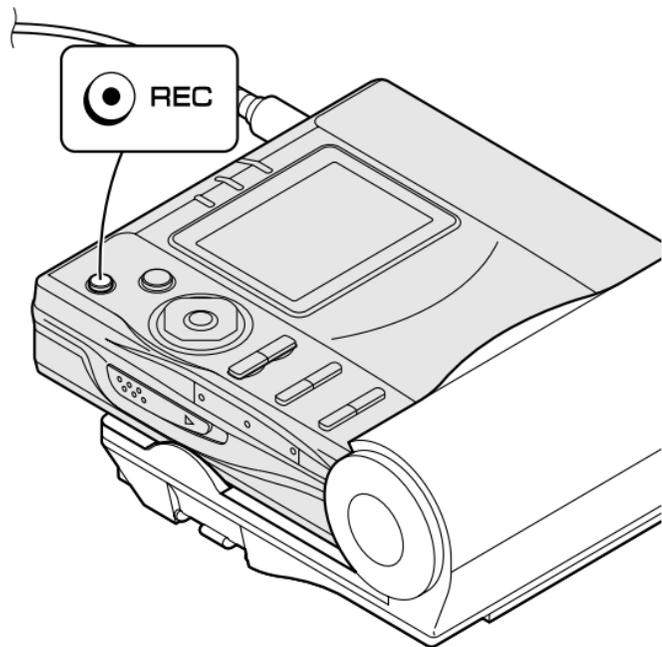
4 MODE  をくり返し押して、録音モードを選ぶ。(P.42)

5  を押す。

録音が始まります。

手動で曲番をつける

録音中に、手動で曲番をつけることができます。



録音中に、曲番をつけたい所で  REC を押す。

- 曲番が1つ増えます。
- リモコンの^{サウンド}SOUNDボタンを押しても、曲番をつけることができます。

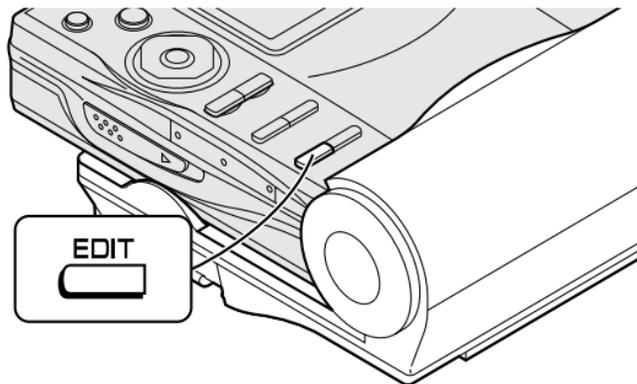
曲番の制限

一定の時間内に10回以上曲番をつけようとする、
ソーリー“SORRY”(本体) / ソーリー“Sorry”(リモコン)が表示され、
 操作を受けつけなくなります。
 そのときは、しばらく待ってから操作してください。

ステレオ録音のとき	40秒以内
2倍長時間録音のとき	80秒以内
4倍長時間録音のとき	160秒以内
モノラル録音のとき	80秒以内

自動で曲番をつける

アナログ録音のとき



録音の一時停止中または録音中に、^{EDIT} を
くり返し押し、^{オート} ^{マーク} “AUTO MARK” を選ぶ。

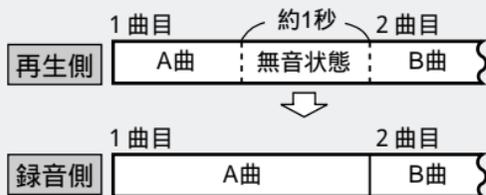
AUTO MARK



MARK OFF

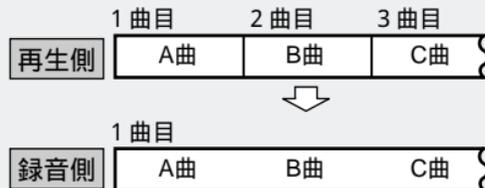
[オートマーク]

1秒以上の無音があると、自動的に曲番がつきます。



[マークオフ]

ひと続きの曲として録音します。



デジタル録音に関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。なお、アナログ入力にはこのような制限はありません。

デジタル録音のとき

[シンクロマーク]

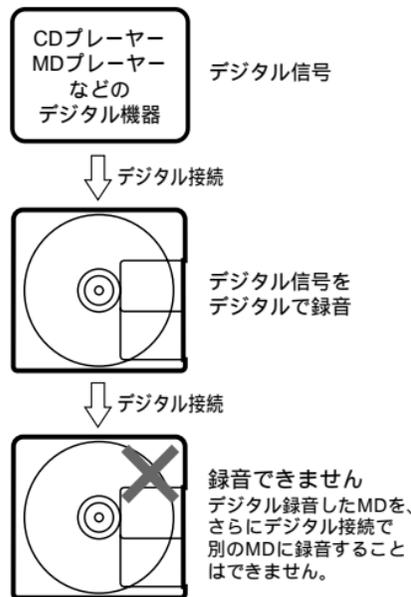
CDやMDから録音するときは、CDやMDについている曲番と同じ所に、曲番が付きま



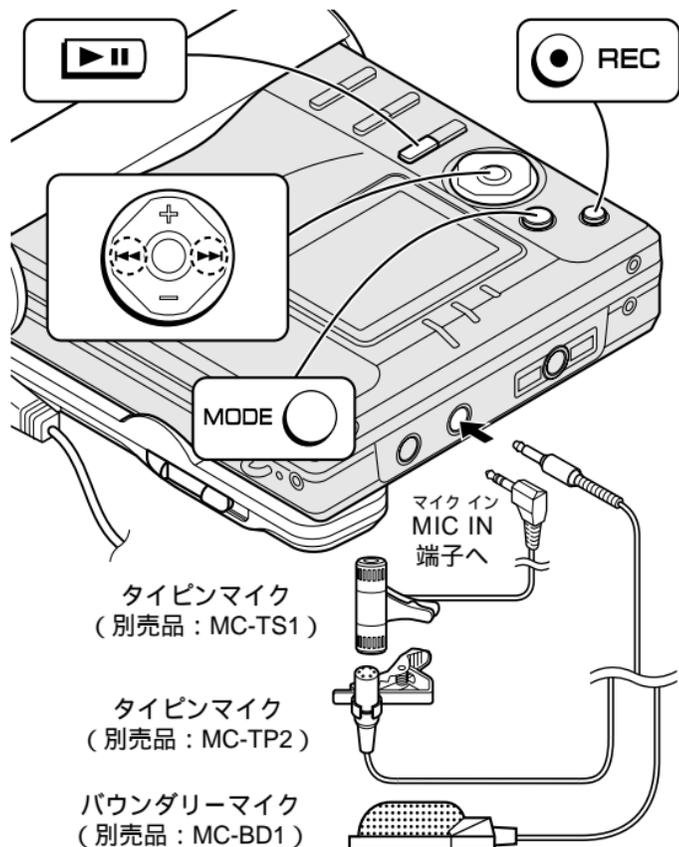
下記のような場合、正しい位置に曲番が見つからないことがあります。

- ・ 信号に雑音があるとき
- ・ 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したとき
- ・ CS・BS放送の番組をデジタル入力で録音したとき

なお、CDの再生機器の種類によっては、デジタル入力でも曲番が見つからないことがあります。



マイクを接続して、録音を始める



- 1 MDを入れる。(P.24)
- 2 マイクをつなぐ。
- 3 ● REC を押す。
録音の一時停止状態になります。
- 4 ◀▶ を押して、録音レベルを調整する。
(P.29)
- 5 MODE ○ をくり返し押して、録音モードを
選ぶ。(P.42)
- 6 ▶|| を押す。

一時停止する

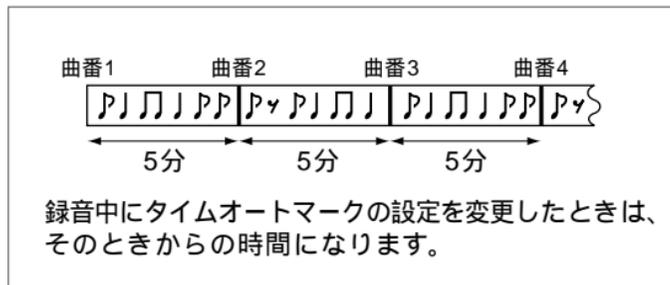
- ▶|| を押す。
もう一度押すと、録音が始まります。
このとき、曲番が1つ増えます。

停止する

- を押す。
停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

曲番について

マイクから録音するときは、一定間隔で曲番がつくようになっていきます。(お買いあげ時は、約5分間隔)
(タイムオートマーク  P.51)



曲番のつく間隔は変えることができます。
(3分/マークなし/10分/5分  P.51)

タイムオートマークの間隔に加えて、録音中に  REC を押すと、好きな位置で曲番をつけることもできます。

接続するマイクについて

- マイクは、必ずプラグインパワー方式に対応したものを
ご使用ください。
プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販の
ステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続
すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となり
ます。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要と
しないものがあります。電源を必要とするマイクの中
には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給される
ものがあります。本体から電源が供給されることによって
動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイク
と言います。

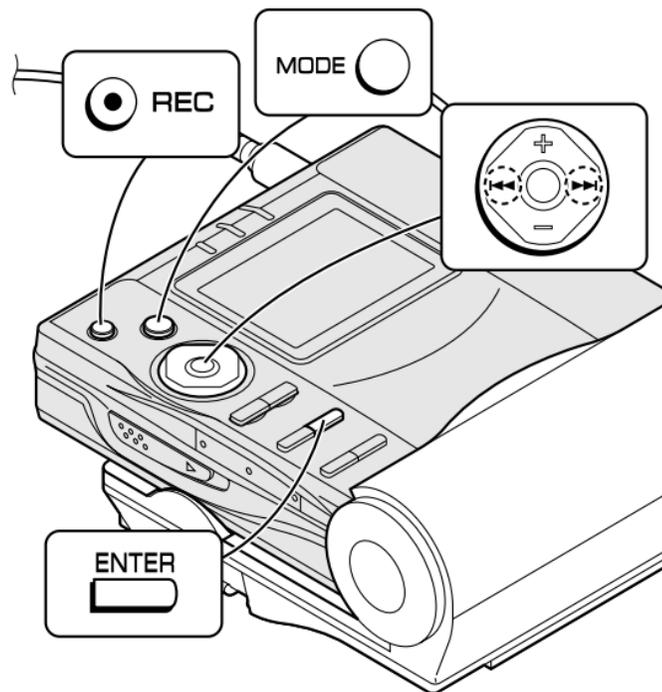
接続時のご注意

- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。接触
不良などにより、正しく録音できないことがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。汚れて
いると、雑音がでることがあります。
- マイクから録音するときは、オプティカル ライン イン OPTICAL/LINE IN端子には
何も接続しないでください。

音声に合わせて、録音を始める

(シンクロ録音)

マイクからシンクロ録音するとき、マイクからの無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。このとき、曲番がつかます。(録音開始後、約10秒間は一時停止しません。)再び音声が入ると、自動的に録音が始まります。



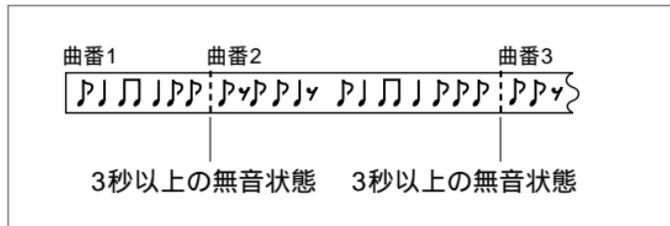
- 1 REC を押す。
録音の一時停止状態になります。
- 2 を押して、録音レベルを調整する。
(P.29)
- 3 MODE をくり返し押して、録音モードを選ぶ。(P.42)
- 4 をくり返し押して、録音の感度を切り換える。
 マイク シンクロ
MIC SYNC H : -24dB をこえると録音を開始します。
(小さな音でも録音開始)
 マイク シンクロ
MIC SYNC L : -12dB をこえると録音を開始します。
- 5 マイクから音声が入ると、自動的に録音が始まる。

お知らせ

- シンクロ録音するとき、雑音などで録音が始まる
ときは、録音の感度を“マイク シンクロ MIC SYNC L”に設定してください。
- 録音の感度は、録音中でも切り換えることができます。
- 録音レベル表示が“マイク MIC H 21”から“マイク MIC L 20”の間で切り換わるとき、音が一瞬とぎれますが故障ではありません。

曲番について

3秒以上の無音状態で自動的に一時停止して、曲番がつきます。



タイムオートマークを設定しているときは、3秒以上の無音状態ですべて曲番に加えて、一定間隔での曲番もつきます。

例: タイムオートマークを「5分」に設定したとき



曲番のつく間隔を変える

タイムオートマークの間隔を変えるには

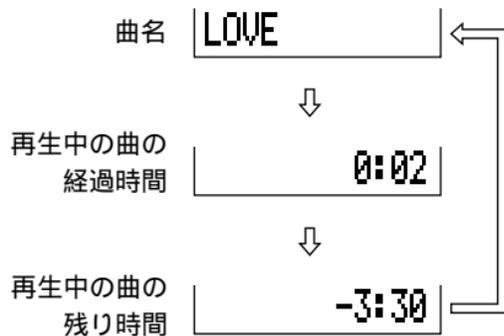
録音の一時停止中または録音中に、 をくり返し押す。



マークの間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれを生じることがあります。

経過時間・残り時間を確認する

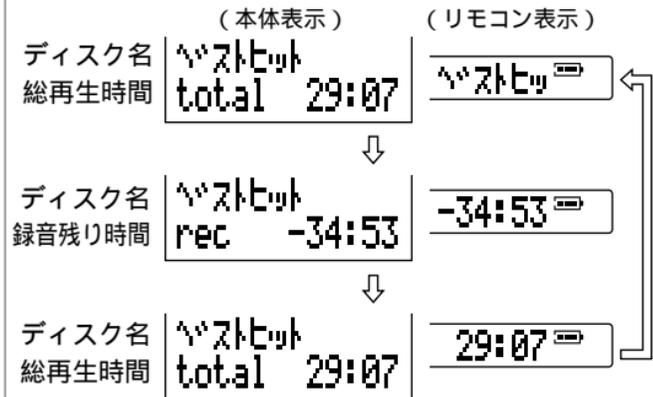
再生中に、DISP をくり返し押す。
押すたびに切り換わります。



- 曲名、ディスク名が記録されていないときは、“NO NAME” と表示されます。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。他の機器でMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。
- 再生専用MDでは、録音残り時間は表示されません。

録音残り時間・総再生時間を確認する

停止中に、DISP をくり返し押す。
押すたびに切り換わります。



- 経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- 録音残り時間は、設定されている録音モードによって時間の表示が異なります。
- 録音残り時間が100分を超えると、リモコン表示には、秒数の1ケタ目は表示されません。

各曲の再生時間を確認する

- 1 停止中に、、 を押して、曲番や曲名を選ぶ。



- 2  を押す。

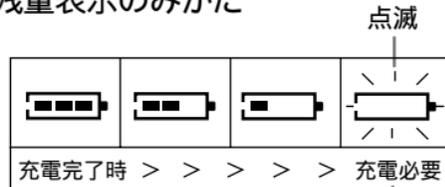


再生時間を表示したあとは、曲番を選ぶだけで選んだ曲の再生時間が確認できます。

電池残量を確認する

電池残量は、充電電池または乾電池で動作中に表示されます。

電池残量表示のみかた



(充電しなすか、新しいアルカリ乾電池と交換)

- 完全に消耗すると、“^{バッテリー}BATT ^{エンプティ}EMPTY”が表示されたあと、電源が切れます。
- 充電電池や乾電池でお使いの場合、電源を入れたときに電池の容量を確認するために、約20秒間は電池残量表示が安定しないことがあります。
- 動作内容によって目盛が増減することがあります。
- 付属のACアダプターで使用するときは、電池残量表示はできません。
- 充電を途中で止めて充電電池を使って操作を行うと、“”表示することがあります。
このときの表示は、フル充電していることを示すものではありません。

ディスクや曲に名前をつける

名前をつけたいMDを入れてください。

再生専用MDや誤消去防止状態 (P.24) のMDを編集することはできません。

1 ディスク名をつけるには

“DISC”^{ディスク}が表示されている停止中に、EDIT^{EDIT}を
くり返し押しして、“DISC NAME”^{ディスク} ^{ネーム}を選ぶ。



“DISC”^{ディスク}が表示されていないと“DISC NAME”^{ディスク} ^{ネーム}を選ぶことはできません。

◻ を1回押すと“DISC”^{ディスク}が表示されます。

曲名をつけるには

名前をつけたい曲の一時停止中に、EDIT^{EDIT}を
くり返し押しして、“TRACK NAME”^{トラック} ^{ネーム}を選ぶ。



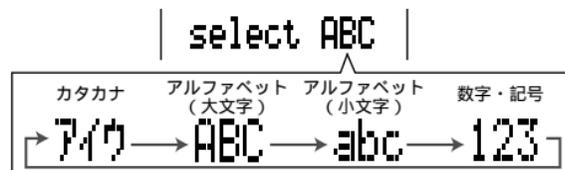
2 ENTER を押す。



文字の入る位置 (カーソル)

- 文字の入力状態になります。
- 操作を中止するときは、◻ を押します。

3 DISP をくり返し押しして、文字の種類を選ぶ。



選んだ文字の種類が約1秒間表示されます。

4 ◀▶ を押し、入れたい文字を選ぶ。

5 入れたい文字が表示されたら、 を押す。



次の文字の入る位置

6 続きの文字を入力する。
操作 3 ~ 5 をくり返し、必要な文字を入力します。

7 文字を入力したあと、 を押す。

ディスク名や曲名が登録されます。

お知らせ

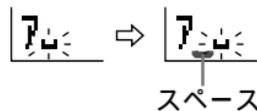
1枚のディスクには、ディスク名を1つ、曲名を最大255曲分つけることができます。ディスク名と曲名には、それぞれ最大100文字入れられ、合計約1,700文字入れられます。ただし、2倍・4倍長時間録音すると、その録音モードの情報が曲ごとに記録されるため、入力できる合計文字数は減ります。

濁音や半濁音を入れるとき

濁音や半濁音つきの文字(「ペ」や「パ」など)は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁音(゜)や半濁音(゚)を入れます。

スペース(空白)を入れるとき

文字の種類からスペースを選んで入力することもできますが、 を押すと、カーソルが右に移動して、その部分がスペースになります。



スペース

入力できる文字

カタカナ

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ
ラリルレロ ワヲンアイウエオヤユヅ゜ - / □

アルファベット(大文字)

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z . , / □

アルファベット(小文字)

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z . , / □

数字・記号

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! " # \$ % & ' () *
+ , - . / : ; < = > ? @ _ □

ディスクや曲に名前をつける（続き）

文字を追加するとき 例)「ヘスト」 「ベスト」

1 文字の入力状態にする。☞ P.54 操作1～2

2 ⊕、⊖ を押して追加したい位置の右の文字を選ぶ。

追加したい位置の右の文字

3 追加する文字を選ぶ。☞ P.54 操作3～4

追加したい文字

4 を押す。

追加

5 を押す。

文字を削除するとき 例)「BEST」 「BEST」

1 文字の入力状態にする。☞ P.54 操作1～2

2 ⊕、⊖ を押して削除したい文字を選ぶ。

削除したい文字

3 を押す。

4 を押す。

文字を変更するとき

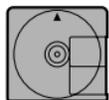
変更したい文字を削除したあと、新しい文字を追加してください。

他のMDからタイトルをスタンプする

スタンプする前に

次のような、同じ曲を録音したMDが2枚あるときは、1枚目のMD(マスターMD)の文字情報(ディスク名や曲名)を、もう1枚のMD(スタンプ用MD)に、スタンプすることができます。

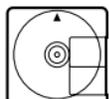
1. マスター MD とは



曲および文字情報の
入った録音用 MD。

再生専用MDからは文字情報をスタンプすることはできません。

2. スタンプ用 MD とは



マスターMDと同じ曲が
同じ順番で入った MD。
(曲のみ)

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数が一致していることを確かめてください。

文字情報をスタンプする



1 マスター MD を入れる。



マスター MD

マスター MD とスタンプ用 MD
の区別をつけておいてください。

2 停止中に、 をくり返し押して、 ネーム スタンプ “NAME STAMP” を選ぶ。

NAME STAMP
OK → ENTER

3 を押す。

READ OK?
OK → ENTER

(文字情報を読み込んでよいかどうかの確認です)
操作を中止するときは、 を押します。

次のページにつづく

他のMDからタイトルをスタンプする（続き）



4 **ENTER** を押す。

| Reading! |
 (文字情報を読み込んでいます)

| CHANGE MD |

5 “^{チェンジ}CHANGE MD” と表示されたら、
 マスターMDを取り出す。
 マスターMDを取り出すとき、電源を切らない
 てください。操作が中止されます。

6 スタンプ用MDを入れる。

| INSERT MD |
 ▼
 | TOC READ |
 ▼
 | WRITE OK? |
 | OK + ENTER |

(文字情報を記録してよいかどうかの確認です)



(完了)

7 **ENTER** を押す。

| Writing! |
 ▼
 | EDIT
 COMPLETE |

文字情報の記録が終わり、停止状態になります。

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数(トラック数)が一致しないときは、次のように表示され、電源が切れます。

| Can'tSTAMP |

(このようなときは、編集操作で
 総曲数を一致させてください。)

曲を消す

(イレース)

8章

MDの編集

1 曲ずつ曲を消す

1 消したい曲の再生中に、 を押して一時停止にする。

停止中に 、 を押して、選ぶこともできます。

2  をくり返し押し、^{イレース}“ERASE”を選ぶ。

ERASE 03
OK → ENTER

3  を押す。

ERASE 03?
OK → ENTER

(消してもよいかどうかの確認です)

操作を中止するときは、 を押します。

4  を押す。

- 曲が消え、総曲数が表示されます。
- 消した曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。

すべての曲を消す

1 停止中または一時停止中に、 をくり返し押し、^{オールイレース}“ALL ERASE”を選ぶ。

ALL ERASE
OK → ENTER

停止中に  を2秒以上押し続けて、選ぶこともできます。

2  を押す。

ERASE OK?
OK → ENTER

(消してもよいかどうかの確認です)

操作を中止するときは、 を押します。

3  を押す。

EDIT
COMPLETE

すべての曲が消えます。

注意

曲を消すと、もとは戻せません。
よく確かめてから操作してください。

続けて他の曲を消すときは

操作1～4をくり返します。

曲を分ける

(デバイド)

1 再生中に、曲を分けたい所で、 を押して一時停止にする。

2  をくり返し押して、“^{デバイド}DIVIDE”を選ぶ。



DIVIDE
OK + ENTER

3  を押す。



DIVIDE OK?
OK + ENTER

(分けてもよいかどうかの確認です)

操作を中止するときは、 を押します。

4  を押す。

- 曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
- 分けた曲以降の曲番は、1つずつ大きくなります。

分ける曲に曲名がついているとき

曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。

ただし、“^{トック}TOC ^{フル}FULL”状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。

( P.73)

分けられる曲数について

1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。

( P.74)

1 つなぐうしろの曲を再生中に、 を押して一時停止にする。
停止中に 、 を押して、選ぶこともできます。

2  をくり返し押して、“^{コンバイン}COMBINE”を選ぶ。

COMBINE
OK → ENTER

3  を押す。

05+ 06 ?
OK → ENTER

(つないでもよいかどうかの確認です)

操作を中止するときは、 を押します。

4  を押す。

- 曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。(操作1を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。

つなぐ曲に曲名がついているとき

曲名は、前の曲のものになります。
ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつきます。

こんなときは、つなげられないことがあります

- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力で録音した曲。
- 12秒以下の短い曲。
- 録音モード(ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音、モノラル録音)の異なる曲。

離れた2つの曲をつなぐとき

曲を移動して2つの曲を連続させたあと、つないでください。

曲を移動する

(ムーブ)

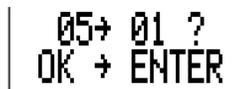
- 1 移動したい曲の再生中に、 を押して一時停止にする。
停止中に 、 を押して、選ぶこともできます。

- 2  をくり返し押して、“^{ムーブ}MOVE” を選ぶ。



MOVE
OK → ENTER

- 3  を押す。



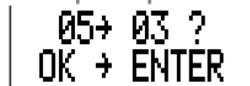
05 → 01 ?
OK → ENTER

(移動してもよいかどうかの確認です)

操作を中止するときは、 を押します。

- 4 、 を押して移動先を選ぶ。
(3 曲目に移動するとき)

移動したい曲 移動先



05 → 03 ?
OK → ENTER

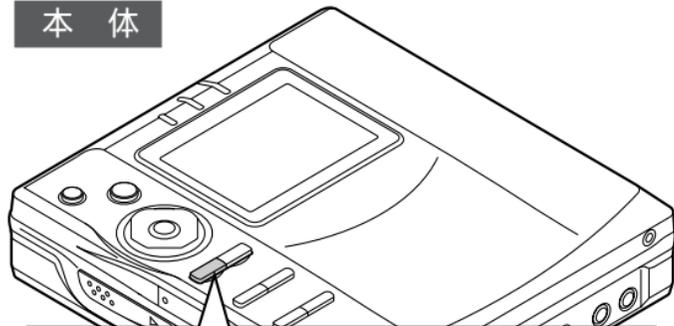
- 5  を押す。

- 曲が移動し、その曲の頭で一時停止状態になります。
(1 の操作を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- 移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番に変わります。

誤動作防止について

混雑した電車などで、誤って操作ボタンが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。
(本体とリモコンは別々に機能します。)

本体



 を 2 秒以上押す。

HOLD ON ↔ HOLD OFF

ホールド設定

ホールド解除

電源が OFF の状態でも電池または AC アダプターが
つながっている状態であれば設定できます。

解除するには

ホールド設定の状態ですべての誤動作防止ボタンを 2 秒以上押す。

“ホールド HOLD オフ OFF” が表示されます。

リモコン



ホールド
HOLDスイッチを矢印の方向にずらす。

 オレンジ色の印が
見えます。

← ホールド設定

解除するには

矢印と反対の方向にずらします。

電源を切った状態でホールド設定をすれば、誤って電源が
入ることなく、電池の消耗を防ぐことができます。

初期設定を変える

- 1 MDを入れる。(P.24)
- 2 停止中に、MODE  を2秒以上押す。
 - “SET UP” が表示されます。
 - 指を離すと “BEEP ON” または “BEEP OFF” が表示されます。
- 3 、 を押して、メニューを選ぶ。
- 4 MODE  を押して、設定項目を切り換える。
- 5 設定が終わると、 を押す。

メニュー	設定項目	
<small>ビープ オン</small> BEEP ON キータッチ音	BEEP ON	鳴らす
	BEEP OFF	消す
<small>オートプレイ オン</small> A-PLAY ON オートプレイ	A-PLAY ON	設定
	A-PLAY OFF	解除
<small>オート パワーセーブ</small> AUTO Psave オートパワー セーブ	AUTO Psave	設定
	Psave OFF	解除
<small>デジタル モード</small> D.L MODE 1 デジタル録音 レベルモード	D.L MODE 1	設定保持
	D.L MODE 2	設定解除
<small>ライト ノーマル</small> LIGHT NORM ● 3色LEDの照明 ● リモコンのバックライト ● リモコンの表示内容	LIGHT NORM	設定内容については次のページを参照ください。
	LIGHT ALL	
	LIGHT OPER	
	LIGHT OFF	

() 印は、お買い上げ時の設定です。

キータッチ音

操作したときに“ピッ”という音を鳴らさないようにすることができます。

オートプレイ

MDを入れても、自動再生しないようにすることができます。

オートパワーセーブ

振動が多い所で使用するとき、解除すると音とびをしにくくすることができます。
(電池持続時間は短くなります。)

デジタル録音レベルモード

- 「D.L MODE 1」: デジタル録音レベルを一度調整すると、設定内容は、録音を停止しても保持されます。
- 「D.L MODE 2」: 録音を停止するごとに、デジタル録音レベルは、「D.L 0dB」に戻ります。

オートパワーセーブについて

再生中は最大約 40 秒間 (ステレオモード時) の音楽情報を蓄積しています。その蓄積時間を 5 ~ 40 秒の間で自動的に調整して、消費電力を少なくするのが、「オートパワーセーブ」です。この機能を解除すると、蓄積時間は調整されません。(充電スタンドで使用時も調整されません。) 再生モードにより蓄積時間は異なります。

3色LEDの照明および、 リモコンのバックライトと表示内容

本体の3色LEDやリモコンの照明パターンを変更することができます。

「LIGHT NORM」:

3色LED	常に点滅
リモコンのバックライト	操作時約 10 秒点灯
リモコンの表示内容	常に表示

「LIGHT ALL」:

3色LED	常に点灯
リモコンのバックライト	操作時約10秒点灯(充電スタンドで使用したときは、常に点灯)
リモコンの表示内容	常に表示

「LIGHT OPER」:

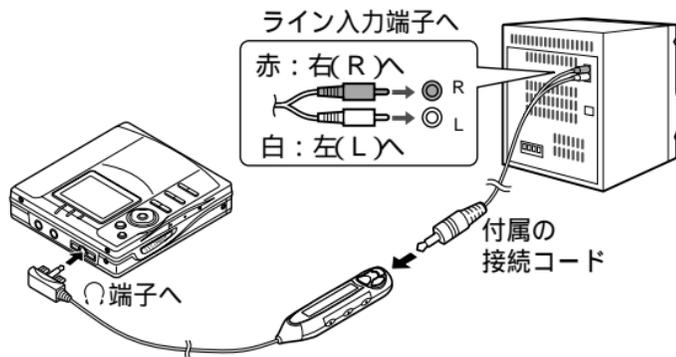
3色LED	再生 / 録音中に操作したとき、約 10 秒点灯
リモコンのバックライト	操作時約 10 秒点灯
リモコンの表示内容	操作時約 10 秒表示

「LIGHT OFF」:

3色LED	点灯しません
リモコンのバックライト	点灯しません
リモコンの表示内容	操作時約 10 秒表示

外部機器と接続する

ステレオやラジカセで聞く

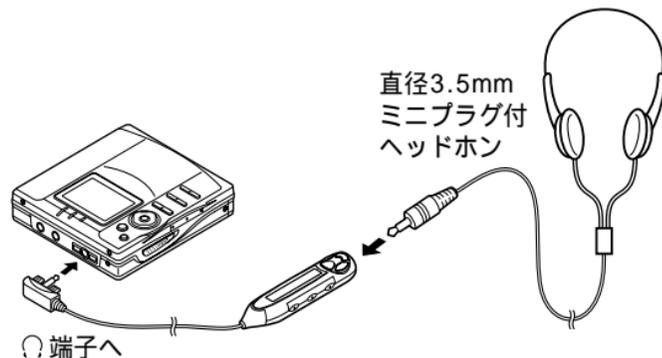


- 他の機器で録音するときは、この製品のキータッチ音を、消しておいてください。(P.64)
キータッチ音を消さないと、キータッチ音も録音されます。
- 録音は、アナログ録音になります。
- 文字情報は記録されません。

お知らせ

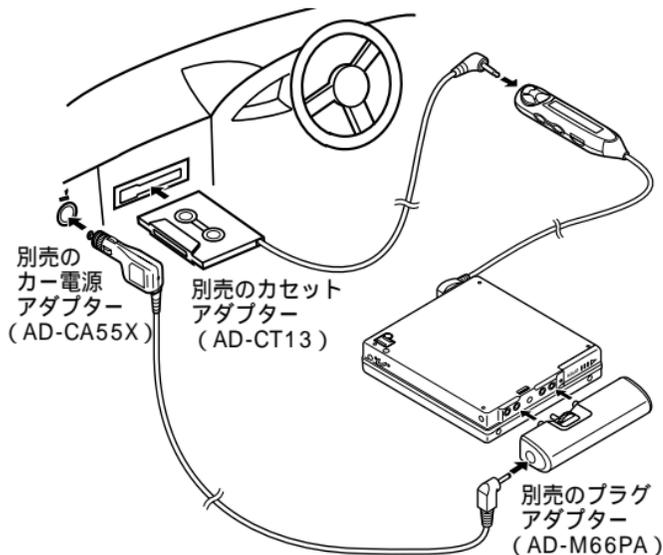
別売品の光デジタルケーブルとデジタルサウンドカードを使うと、パソコンの音楽データをMDに録音することができます。

市販のヘッドホンで聞く



使用するヘッドホンによって、電池持続時間が変わります。
ヘッドホンは、直接本体につなぐこともできます。

カーステレオで聞く



- 音量は、この製品とカーステレオの両方で調整してください。
- 運転中は、MDポータブルレコーダーを操作しないでください。事故の原因となります。
- 車内など高温になる場所には、放置しないでください。本体が熱くなると、液晶表示部全体が濃い青色になり、表示が見えにくくなります。温度が下がると正常に表示されます。

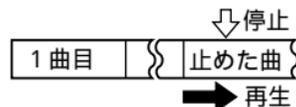
カー電源アダプターについて

カ - 電源で使用するときには、別売のカー電源アダプター (AD-CA55X) とプラグアダプター (AD-M66PA) が 必要です。指定以外のカー電源アダプターやプラグアダプターは使用しないでください。

カー電源アダプターで使用するときには、充電電池を取り出してください。充電電池が入っていると、再生中に車のエンジンを“切”にしても再生が続き、本体の電源は切れません。

AD-CA55XとAD-M66PAを使用すればこのような使いかたができます。

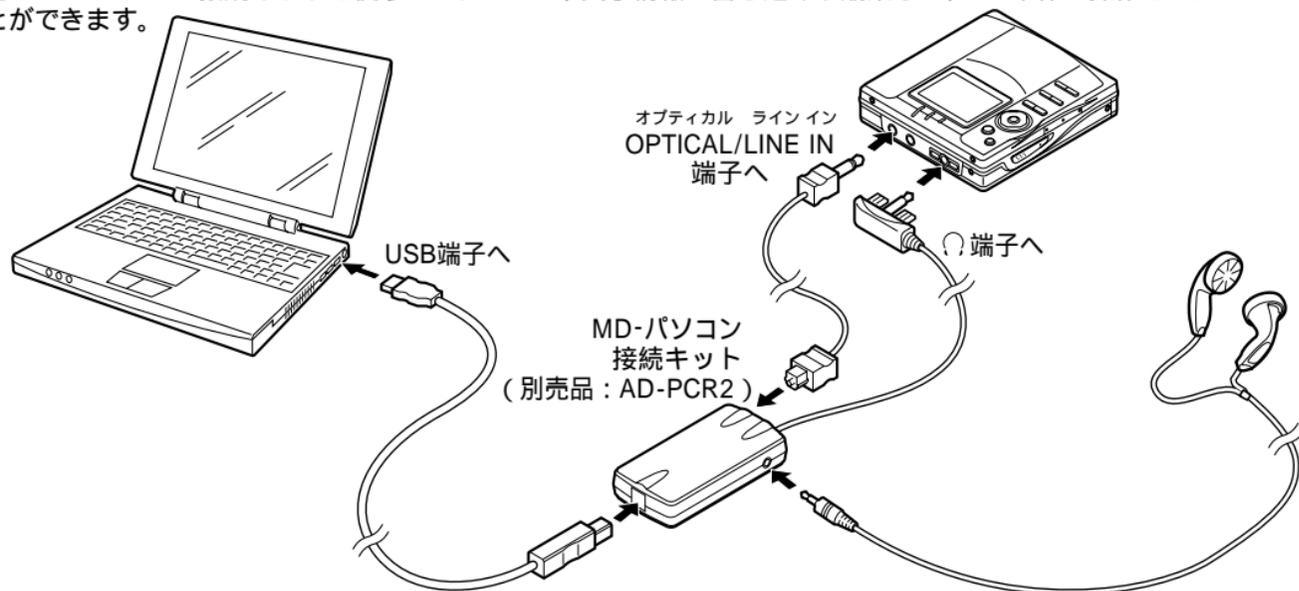
- 1.再生中に車のエンジンキーを“切”にすると、この製品の電源も切れます。
(一部、切れない車種もあります。)
- 2.このあと、エンジンキーを“入”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。



外部機器と接続する（続き）

パソコンでMD本体を操作する

別売のMD-パソコン接続キットを使うことによって、文字情報の書き込みや編集など、MD本体の操作をパソコンで行うことができます。



- 接続可能なパソコンの仕様は、あらかじめカタログなどでご確認ください。
- パソコンで操作中は、本体表示に“LINK”と表示され、本体では操作できません。
パソコンでの操作を中止するときは、本体の停止ボタンを1秒以上押し、本体で操作できるようになります。
- 接続や操作方法などくわしくは、「AD-PCR2」の取扱説明書をごらんください。

充電電池について

ニッケル水素充電電池の特性について

- 付属の充電電池は、ニッケル水素充電電池です。
- はじめて充電するときや、長期間使用しなかったあとでは、電池持続時間が短くなることがあります。通常の使用時間に戻すには、充電と再生を4～5回くり返してください。
- 完全に消耗せずに充電をくり返すと、電池持続時間が短くなります。このことをメモリー効果といいます。通常の使用時間に戻すために、この製品では充電時にメモリー効果を読み取り、必要に応じて自動的に充電電池を放電させることができます。(リフレッシュ P.21)
- 充電は5～35の範囲で行ってください。0以下では、充電状態に入らないようになっています。

交換時期について

- 充電可能回数は、約300回です。
- 充電電池は消耗品のため寿命があり、使用条件や長期間の未使用などにより、電池持続時間が短くなることがあります。
- 電池持続時間が極端に短く(半分以下)なったり、充電できなくなったときは、新しい充電電池と交換してください。(別売品：AD-N55BT)

リサイクルご協力のお願い

充電式電池は、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
 - ・ (+)端子と(-)端子にテープを貼る。
 - ・ 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさない。
 - ・ 分解しない。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。
それでも具合の悪いときは、79ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

電源が入らない

- ➔ ACアダプターがはずれていませんか。 ☞P.22
- ➔ 電池が消耗していませんか。 ☞P.20
- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.63
- ➔ 「つゆつき現象」がおきていませんか。 ☞P.71
- ➔ 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。 ☞P.71

音が聞こえない

- ➔ 音量が最小になっていませんか。 ☞P.33
- ➔ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 ☞P.32
- ➔ 音楽用MD以外のMDデータディスクを再生していませんか。

操作ボタンを押しても操作ができない

- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.63
- ➔ 充電/操作切換スイッチが充電側になっていませんか。 ☞P.19
- ➔ 電池が消耗していませんか。 ☞P.20
- ➔ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 ☞P.32
- ➔ ロック検出端子が汚れていませんか。 ☞P.78

音がとぎれる

- ➔ 電池が消耗していませんか。 ☞P.20
- ➔ 振動が多い場所で使用していませんか。

MDが取り出せない

- ➔ 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか。
トラック エディット
(“TOC EDIT”表示) ☞P.31
- ➔ 録音中、または編集中にはありませんか。

録音や編集ができない

- ➔ MDが誤除去防止状態になっていませんか。 ☞P.24
- ➔ 他の機器と正しく接続されていますか。 ☞P.26
- ➔ 録音中または編集中に、ACアダプターがはずれたり停電になっていませんか。
- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.63
- ➔ 入力可能なサンプリング周波数ですか。 ☞P.27
- ➔ 他の機器の光出力が出ていますか。
他の機器の取扱説明書を読んでください。

充電できない

- ➔ 充電/操作切換スイッチが操作側になっていませんか。 ☞P.19
- ➔ 端子が汚れていませんか。 ☞P.78

リモコンに表示内容がでない

- ➔ リモコンの表示内容の設定が「LIGHT OFF」になっていませんか。 ☞P.65

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷によってコンセントから異常な電圧が流れた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときには、次のようにしてください。

- ① ACアダプターをコンセントからはずす。
- ② 電池をはずす。
- ③ 約30秒間そのままにしておく。
- ④ ACアダプターをコンセントにつないで操作する。

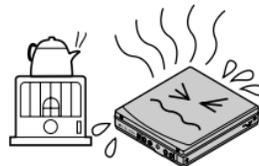
1 注意

- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
- ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。
- MDによっては、記録された各情報に異常があるとき、音がとぎれたり、再生の途中で停止したりすることがあります。
このようなときは、故障と思われる修理を依頼される前に、他のMDでもお確かめください。

つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことにより、正常な動作をしなくなることがあります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい所に移動したとき



つゆを取るには

MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

こんな表示がでたら

表示	意味
BATT EMPTY (Lo BATT)	● 充電電池や乾電池の残量がなくなった
BLANK MD (BLANK)	● 音楽や文字情報が記録されていない [録音された MD と取り換えてください]
Can't COPY (Can'tC)	● コピー禁止のものから録音しようとした ● 音楽以外(データなど)の信号を録音しようとした [アナログ入力で録音してください]
Can't EDIT (Can'tE)	● 編集できない [別の曲を編集してみてください]
Can't READ (Can'tS) (Can'T) (Can'tU)	● ディスクにキズがついていたりして、情報を読み取れない [MD をもう一度入れ直すか他の MD と取り換えてください]
Can't REC (Can'tR)	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった
Can'tSTAMP	● スタンプできない [曲数を確かめてください]
Can't WRITE (Can'tW)	● TOC 情報を正しく MD へ記録できない

() 内はリモコンの表示です。

表示	意味
CHARGE mode	● 本体を AC アダプターで使うとき、充電/操作切換スイッチが操作側になっていない
DEFECT (DEFECT)	● ディスクにキズがある [再生した音が異常であれば録音をやり直すか他の録音用 MD と取り換えてください]
DISC FULL	● MD に録音できる空きがない
Er-MD (ErMD)	● 自己診断により故障と判断した [修理を依頼してください]
HOLD (HOLD)	● 誤動作防止状態になっている
LOCKED	● 録音中、または編集中に MD を取り出そうとした [電源を切ってから MD を取り出してください]
NO DISC (noDISC)	● MD が入っていない
NO SIGNAL (noSIG.)	● デジタルケーブルの接続不良 ● 再生する機器から出力信号が出ていない [再生する機器は AC 電源を使ってください] ● 入力した信号が適切なサンプリング周波数ではない

には数字や記号が入ります。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。

したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど
営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会
☎(03)5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎(03)3481-2121	横浜支部	☎(045)662-6551
北海道支部	☎(011)221-5088	静岡支部	☎(054)254-2621
盛岡支部	☎(019)652-3201	中部支部	☎(052)583-7590
仙台支部	☎(022)264-2266	北陸支部	☎(076)221-3602
長野支部	☎(026)225-7111	京都支部	☎(075)251-0134
大宮支部	☎(048)643-5461	大阪支部	☎(06)6244-0351
上野支部	☎(03)3832-1033	神戸支部	☎(078)322-0561
東京支部	☎(03)3562-4455	中国支部	☎(082)249-6362
西東京支部	☎(03)3232-8301	四国支部	☎(087)821-9191
東京イベント・コンサート支部	☎(03)5286-1671	九州支部	☎(092)441-2285
立川支部	☎(042)529-1500	鹿児島支部	☎(099)224-6211
		那覇支部	☎(098)863-1228

表示	意味
PLAY MD (PLAYmd)	●再生専用MDに録音や編集をしようとした
POWER ?	●充電スタンドに異常がある [修理を依頼してください]
PROTECTED	●MDが誤消去防止状態になっている
SORRY (Sorry)	●曲番を検索中または書き込み中のため操作できない [少し待って操作してください]
TEMP OVER (TEMP!)	●温度が高くなりすぎた [電源を切ってしばらく休ませてください]
TOC FORM (T form)	●記録した信号に異常がある [すべての曲を消し、録音をやり直してください]
TOC FULL	●文字情報(ディスク名/曲名など)を記録する空きがない
Tr. Protect	●曲が誤消去防止状態になっている [曲を録音した機器で編集してください]
? DISC (?DISC)	●音楽以外(データなど)が入ったMDを再生した [データなどが入ったMDは再生できません] ●記録した信号に異常がある

()内はリモコンの表示です。

MD のシステム上の制約

MD は録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがありますが、故障ではありません。

こんなとき	このような制約があります
MD の最大録音時間に満たなくても “DISC FULL” または “TOC FULL” が 表示されることがある	録音時間に関係なく、曲数が最大(255曲)になると録音できなくな ります。 また、録音・編集をくり返したMDやMDにキズがある場合(その 部分は自動的に録音不可となる)は、上記未満でも録音できないことが あります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が 増えないことがある	MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下(ステレオ録音時)の 無録音部分は無視されます。このため、短い曲を何曲消しても残り時間 が増えないことがあります。 (録音モードにより秒数は異なります。)
MDに録音した時間と残りの時間の合計が 最大録音時間に一致しないことがある	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位として録音されます。 これに満たない曲でも約2秒間のスペースを使います。 たとえば、3秒の曲でも2クラスタ(約4秒)のスペースを使います。 このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なく なることがあります。 (各秒数は、ステレオ録音時の値です。録音モードにより異なります。)
編集で曲と曲をつなげないことがある	録音・編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげることができない ことがあります。
録音された曲を早戻し・早送りすると、 音のとぎれが長いことがある	録音・編集をくり返して行ったMDでは、1つの曲が分散して記録され ることがあるため、早戻し・早送り中に音がとぎれることがあります。
曲の途中で曲番がつくことがある	録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。

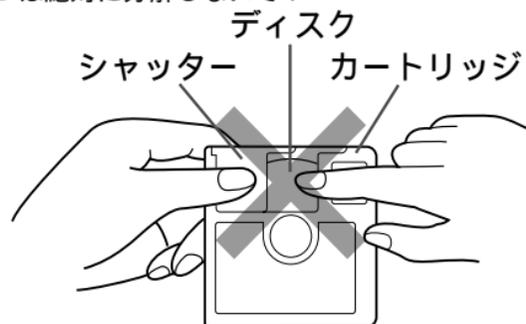
MD について

MD 自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。

ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

シャッターを開けてディスクに直接触れないで！
MD は絶対に分解しないで！



- シャッターは無理に開けるとこわれます。
- カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

保管場所について

必ず専用ケースに入れて保管してください。

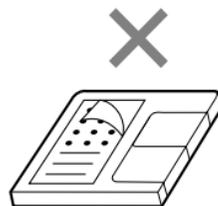
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所(特に密閉した自動車内等)
- 温度や湿度の高い所
- カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所(海辺や砂地等)

ラベルを貼り付けるときのお願い

MD カートリッジにラベルを正しく貼り付けないと、MD が内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。
(指定エリア以外には貼り付けないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



仕様について

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約 400 ~ 1,350rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮伸長方式	ATRAC / ATRAC 3（Adaptive TRansform Acoustic Coding）24 ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル / モノラル 1 チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz（32kHz・48kHzは、44.1kHz に変換して録音）
周波数特性	20 ~ 20,000Hz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下
入力端子	ライン / 光デジタル兼用、マイク（プラグインパワー対応）
出力端子	ヘッドホン（インピーダンス 32 Ω） / リモコン端子兼用
入力感度	MIC H : 入力レベル 0.25mV（インピーダンス 10k Ω） MIC L : 入力レベル 2.5mV（インピーダンス 10k Ω） LINE : 入力レベル 100mV（インピーダンス 20k Ω）
出力レベル	ヘッドホン : 最大出力レベル 5mW+5mW（インピーダンス 32 Ω） LINE : 規定出力 250mV（インピーダンス 10k Ω）
電源	DC 1.2V : 付属ニッケル水素充電電池（AD-N55BT）x 1 DC 1.5V : 付属乾電池ケース（別売単 3 形アルカリ乾電池 x 1） DC 1.5V : 別売カー電源アダプター（AD-CA55X）（DC12V / 24V ○ 接地車用） （別売プラグアダプター（AD-M66PA）併用） DC 5V : 付属 AC アダプター（100V AC、50 / 60Hz）（付属充電スタンド併用）

電池持続時間

使用電池	モード	ステレオ		2倍長時間		4倍長時間	
		連続録音	連続再生	連続録音	連続再生	連続録音	連続再生
付属充電電池（フル充電）使用時 AD-N55BT		約 6.5 時間	約 12 時間	約 9 時間	約 13.5 時間	約 11.5 時間	約 15 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本使用時（充電電池収納）		約 6 時間	約 16 時間	約 10 時間	約 19.5 時間	約 13 時間	約 22 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本 + 付属充電電池（フル充電）		約 15 時間	約 29 時間	約 22 時間	約 33 時間	約 30 時間	約 40 時間

- 周囲温度 25℃ にて充電し、水平に置いて連続使用したときの標準値です。
（持ち歩いて使用すると、電池持続時間は短くなります。）
- 音量レベルの設定は、“VOL 15”です。
- LED の設定は、“LIGHT OFF”です（P.65）。
- 乾電池のメーカーや種類および使用条件によって、電池持続時間は異なります。
- フル充電とは、電池残量表示が“”（1 目盛）の状態の充電電池を約 3.5 時間充電させて、充電が完了した状態を言います。

充電時間

約 3.5 時間

外形寸法

71.9（幅）x 16.8（高さ）x 78.7（奥行）mm

質量

約 131 g（充電電池含む）

別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

ACアダプター (AD-SS70AP)	100V ~ 240V ワールドワイド対応 (コードの長さ: 約 1.8m)
光デジタルケーブル (AD-M1DC)	角形プラグ 3.5mm 丸形プラグ (コードの長さ: 約 1m)
光デジタルケーブル (AD-M2DC)	3.5mm 丸形プラグ 3.5mm 丸形プラグ (コードの長さ: 約 1m)
デジタルサウンドカード (AD-AJ2)	
MD- パソコン接続キット (AD-PCR2)	USB 接続 / CD-ROM 付属
ニッケル水素充電池 (AD-N55BT)	1.2 V、1400mAh
カー電源アダプター (AD-CA55X)	12V / 24V ○ 接地車専用 (コードの長さ: 約 1.5m) 出力電圧: 1.5V
プラグアダプター (AD-M66PA)	AD-CA55X との併用で使用
カセットアダプター (AD-CT13)	コードの長さ: 約 1.5m
ワンポイントステレオマイク (MC-TS1)	プラグインパワー対応
タイピンマイク (MC-TP2)	モノラル / プラグインパワー対応
バウンダリーマイク (MC-BD1)	モノラル / プラグインパワー対応

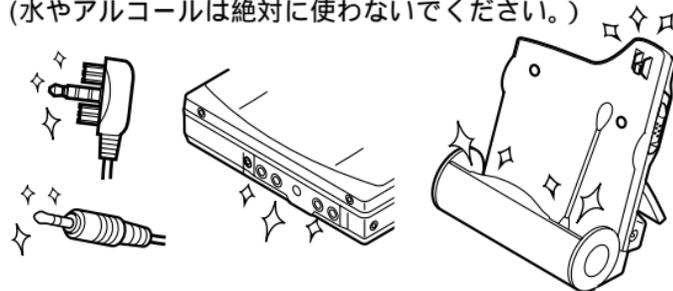
お手入れについて

やわらかい布で軽くふきます。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

接続端子やプラグが汚れていると接触不良の原因となります。定期的に綿棒で空拭きしてください。

(水やアルコールは絶対に使わないでください。)



注意

- 薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色することがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を!

愛情点検



このような
症状は
ありませんか?

ACアダプタ - や
コードが異常に熱い
コゲくさい臭いがする
ACアダプタ - のコードに
深いキズや変形がある
その他の異常や故障が
ある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、ACアダプタ - をコンセントから抜き、電池をはずしてから、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、MDポータブルレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（80～83ページ）にお問い合わせください。

修理のためにこの製品をお持ち込みになるときは、リモコンなどの付属品も一緒をお願いします。本体だけですと、故障の内容によっては修理および検査ができないことがあります。

修理を依頼されるときは **持込修理**

- 「故障かな？」と思ったら（70～71ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ずACアダプタ - をコンセントから抜き、充電機などははずしてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ お客様へ...
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話() -

お客様ご相談窓口一覧表

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

製品の故障や部品のご購入などのご相談は - - - - - 『修理ご相談窓口』へ

(注)*印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。

なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。

製品に対するご意見・ご要望などは - - - - - 『一般ご相談窓口』へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社							
担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター 〔*札幌〕	(011)641-4690 (011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	岩手県	岩手 釜石	(019)638-6087 (0193)23-4649	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1 釜石市上中島町4-6-43
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪435	宮城県	CSセンター 〔*宮城〕	(022)288-9250 (022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3丁目17		山形県	山形 酒田	(023)631-4649 (0234)24-4649
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10	福島県	福島 会津若松	(024)945-4649 (0242)25-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1 会津若松市山見町41-2
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9		いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘37-10
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13		新潟県	CSセンター 〔*新潟 *長岡〕	(025)285-1513 (025)285-3663 (0258)23-1819
旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通4丁目左10	青森県	青森 弘前		(0177)38-0281 (0172)27-4649	青森市妙見3-3-4 弘前市豊田3-5-1
函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17		八戸		(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56	秋田県	秋田 横手	(018)863-4649 (0182)33-4649	秋田市川尻町大川反170-56 横手市横手町六の口5

(2000.10)

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社							
担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	宇都宮市不動前4-2-41 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡5201	神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	横浜市磯子区中原1-2-23 平塚市田村1381 相模原市横山2-2-12
	* 栃木	(028)637-1179			* 横浜	(045)753-4647	
	* 小山	(0282)62-5466			* 湘南	(0463)54-4738	
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722	前橋市問屋町1-3-7	山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	甲府市富竹2-1-17
	* 群馬	(027)252-4706			* 山梨	(055)228-5375	
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	水戸市千波町1963 つくば市栗原2857-9	静岡県	CSセンター	(054)285-9360	静岡市曲金6-8-44 沼津市宮前町11-4 浜松市植松町1476-2
	* 茨城	(029)241-4930			* 静岡	(054)285-9340	
	* 南茨城	(0298)57-9130			* 沼津	(0559)22-5249	
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	大宮市宮原町2-107-2 越谷市南荻島346-1	長野県	CSセンター	(026)293-6612	松本市芳野8-14 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
	* 埼玉中央	(048)666-7987			* 松本	(0263)27-4694	
東京都	* 埼玉東	(0489)78-7101	東京都墨田区石原2-12-3 東京都大田区南馬込1-5-15 東京都板橋区東新町1-33-11 東京都世田谷区用賀3-8-18 東京都北区東田端2-13-17 日野市日野台5-5-4	愛知県	* 長野	(026)293-6262	名古屋市中川区山王3-5-5 岡崎市柿田町1-21 豊橋市下地町橋口17-1
	CSセンター	(03)5692-7722			CSセンター	(052)332-5880	
	* 江東	(03)3626-4642		* 名古屋	(052)332-2623		
	* 城南	(03)3776-2419		* 岡崎	(0564)24-2343		
	* 城北	(03)3972-4195		* 豊橋	(0532)53-4647		
	* 世田谷	(03)3707-3345		CSセンター	(052)332-5880		
* 田端	(03)5692-7765	* 岐阜	(058)273-4969				
* 三多摩	(042)586-6059	CSセンター	(052)332-5880				
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	千葉市美浜区中瀬1-9-2 松戸市稔台295-1 八日市場市高字東2779-4 木更津市請西2-5-22	三重県	* 三重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
	* 千葉	(043)299-8840			CSセンター	(076)269-1875	
	* 西千葉	(0473)68-4766		* 富山	(076)451-2459		
	* 東千葉	(0479)79-1181					
* 木更津	(0438)37-7912						

(2000.10)

(つづく➡)

お客様ご相談窓口一覧表（続き）

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社									
担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地		
石川県	CSセンター	(076)269-1875	石川郡野々市町御経塚町1096-1	鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町2-204		
	〔*金沢〕	(076)249-2434			CSセンター	〔*岡山〕	(086)292-1707	都窪郡早島町矢尾828	
福井県	CSセンター	(076)269-1875	福井市北四ツ居町625	島根県	CSセンター	(0852)24-4811	松江市西津田3-1-10		
	〔*福井〕	(0776)54-2459			〔*松江〕	(0852)24-4810			
滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	大津市栗林町11-35 彦根市東沼波町133	広島県	CSセンター	(082)874-8071	広島市安佐南区西原2-13-4		
	〔*滋賀〕	(077)545-4692			〔*広島〕	(082)874-8149			
〔*彦根〕	(0749)24-4643	CSセンター	〔*東広島〕		(0824)28-7448				
京都府	CSセンター	(06)6795-2899	京都市南区上鳥羽菅田町48 福知山市末広町6-13		CSセンター	〔*東広島〕		(0824)28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	〔*京都〕	(075)672-2378			CSセンター	〔*福山〕		(0849)51-7644	福山市津之郷町津之郷上開地
大阪府	〔*北近畿〕	(0773)23-9151	大阪市浪速区恵美須西1-2-9 堺市老松町1-39 大阪市平野区加美南3-7-19 貝塚市沢1215 茨木市鮎川5-15-3	CSセンター	〔*福山〕	(0849)51-7654	吉敷郡小郡町若草町4-1-2 下松市西豊井173-1		
	CSセンター	(06)6795-2800		CSセンター	〔*山口〕	(083)972-0870			
	〔*大阪〕	(06)6643-5331		〔*山口〕	〔*山口〕	(083)972-0891			
	〔*堺〕	(0722)45-4651		〔*東山口〕	〔*東山口〕	(0833)44-0923			
	〔*大阪TC〕	(06)6794-5611		香川県	CSセンター	〔*香川〕		(087)823-5513	高松市朝日町6-2-8
〔*南大阪〕	(0724)31-1950	CSセンター	〔*香川〕		(087)823-4901				
〔*北大阪〕	(0726)34-4519	徳島県	CSセンター	〔*徳島〕	(088)625-4684	徳島市中常三島町3-11-14			
CSセンター	(06)6795-2899		CSセンター	〔*徳島〕	(088)625-4654				
兵庫県	〔*兵庫〕	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2	CSセンター	(089)971-4729	松山市高岡町178-1			
	〔*神戸〕	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18	CSセンター	〔*愛媛〕		(089)971-4563		
	〔*阪神〕	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10	CSセンター	〔*高知〕		(0888)82-4021		
	〔*姫路〕	(0792)66-1819	姫路市青山5-7-7	CSセンター	〔*高知〕		(0888)82-4635		
〔*豊岡〕	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1	高知県	CSセンター	(0888)82-4021	高知市高須960-1			
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899		大和郡山市美濃庄町492 御所市茅原4-3	CSセンター		(0888)82-4635		
	〔*奈良〕	(0743)53-6693	CSセンター		(0888)82-4635				
〔*奈良南〕	(0745)65-1492	和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	和歌山市西小二里2-4-91 田辺市稲成町441-1				
〔*南紀〕	(0739)25-3121		CSセンター	(073)445-4615					

(2000.10)

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社							
担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	福岡市博多区井相田2-12-1 久留米市御井旗崎3-7-14 北九州市小倉北区大手町6-12	大分県	CSセンター	(097)552-9416	大分市松原町3-5-3
	*福岡	(092)572-4652			*大分	(097)552-2313	
	*南福岡	(0942)45-8211					
	*北九州	(093)592-4677					
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	佐賀市鍋島町八戸五本松2043-2	熊本県	CSセンター	(096)366-7070	熊本市新屋敷3-15-17 本渡市港町19-3
	*佐賀	(0952)24-9450			*熊本	(096)364-4777	
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	大村市古賀島町613-3 佐世保市白岳町107-5	宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	宮崎市原町4-12
	*長崎	(0957)52-3511			*宮崎	(0985)31-1832	
	佐世保	(0956)32-6666					
				鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	鹿児島市鴨池新町12-1
				*鹿児島	(099)253-4600		

沖縄シャープ電機株式会社							
担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙2-10-1	鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町8-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里214-4				

一般ご相談窓口

シャープ株式会社							
東日本相談室	TEL (043)297-4649 FAX (043)299-8280	〒261-8520 千葉県美浜区中瀬1-9-2	西日本相談室	TEL (06)6621-4649 FAX (06)6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41		

シャープエンジニアリング株式会社							
北海道支店 消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	近畿支店 消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19		
東北支店 消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27	中国支店 消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4		
首都圏支店 消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17	四国支店 消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8		
中部支店 消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721 名古屋市中区山王3-5-5	九州支店 消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1		

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

(2000.10)

ACCESSORIES (page 13)

- AC Adaptor x 1
- Battery Case x 1
- Carrying Case x 1
- Headphones x 1
- Remote Control Unit x 1
- Battery Carrying Case x 1
- Battery Charger x 1
- Connecting Cable x 1
- Rechargeable Battery x 1

ABOUT THE BATTERY CHARGER (pages 18 – 19)

There are two different ways to use the battery charger. One is to use it as a normal battery charger, the other is to use it with an AC adaptor by attaching the main unit to the battery charger.

■ Mounting

Release the charge/operation selector switch and insert the main unit into the battery charger.

■ Charge/operation selector switch

	POSITION
Charging, Mounting, Removing	Charge mode (RELEASE)
Operation (recording/playback)	Operation mode (LOCK)

- Impossible to charge until you release the charge/operation selector switch.
- Impossible to operate until you set the switch to LOCK.

■ Removing

Release the charge/operation selector switch and pull the main unit.

POWER SOURCE (pages 20 – 23)**■ Rechargeable battery**

Charge the rechargeable battery according to the following procedure.

1. Insert the rechargeable battery.
 - (1) Open the battery compartment cover.
 - (2) Insert the ⊖ mark of the battery first.
 - (3) Close the battery compartment cover.

2. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.
3. Move the Charge/Operation switch to charge mode.
4. Place the main unit on the battery charger, with its front toward you.
 - The segments shown in the battery indicator () will scroll up, and the battery will begin to be charged.
 - Battery charging will be completed in 3.5 hours. When battery charging is completed, "  " will go out.

Notes:

- When the unit is operated from the rechargeable battery without using the AC adaptor, the battery indicator on the main unit's display will light up. If this indicator begins to flash, recharge the battery.
- Use only the specified rechargeable battery.

■ AC adaptor

1. Place the main unit on the battery charger, with its front toward you.
2. Move the Charge/Operation switch to operation mode.
3. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.

■ Alkaline battery power

1. Make sure that a rechargeable battery is inserted.
2. Open the cover of the battery case supplied with the unit.
3. Insert the AA size battery [LR6] into the battery case by matching its plus and minus terminals to the diagram in the battery case, and then close the cover of the battery case.
4. Align the protuberance on the battery case with the indentation on the side of the unit.
5. Turn the fixing screw on the battery case toward the word "LOCK", and then make sure that the battery case does not move.
 - Do not insert a rechargeable battery (such as nickel-cadmium rechargeable battery) into the battery case.

INSERT A MINIDISC (pages 24 – 25)

1. Move the **[OPEN]** knob in the direction shown by the arrow to open the disc holder.
2. Insert the arrow end of the MiniDisc first, while pushing the center of the MiniDisc.
3. Close the disc holder.

RECORDING ON A MINIDISC (pages 26 – 31)

1. Insert a MiniDisc.
2. Connect the output jacks from other equipment to the OPTICAL/LINE IN jack on the unit using the appropriate cables for each connection.

Analog recording connection:

Connect the unit to equipment with a line output jack or headphones jack, using the cable that came with the unit.

- Main equipment: CD player, MD player, radio cassette player, etc.
- Cable required: Cable included with this unit.

Digital recording connection:

Connect the unit to equipment with an optical/digital output jack using a digital cable (available separately). Using an optical digital signal to transfer the music allows very high quality recording.

- Main equipment: CS/BS tuner, CD/MD player, digital amplifier, etc.
 - Cable required: Digital cable (AD-M1DC or AD-M2DC, available separately)
3. Press the **[REC]** button.
 4. To adjust the recording level, start playback from the equipment which will provide the signal to be recorded, and press the **[◀▶]** or **[▶▶]** button.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
 - While recording digitally, the recording level can be adjusted just like the analog recording.

5. After adjusting the recording level, put the equipment connected to the unit in the playback stand-by mode.
6. Press the **[MODE]** button repeatedly to select recording mode.
7. To start the recording, press the **[▶||]** button.
 - Start playback from the equipment connected to this unit.

■ To interrupt the recording

Press the **[▶||]** button during recording.

- The unit will enter the recording stand-by mode.
- To resume recording, press the **[▶||]** button again.

■ To stop the recording

Press the **[■]** button.

■ To turn off the power

Press the **[■]** button while in the stop mode.

- TOC will be written, and the unit will turn off.
- While "TOC EDIT!" is being displayed, do not jar the unit. If you do, the TOC cannot be written correctly on the disc.

■ Checking the remaining recordable time

Press the **[DISP]** button while recording or while the recording is paused.

- To make the initial display appear, press the **[DISP]** button again.

■ About the TOC

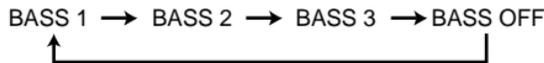
After any recording or editing function "TOC" (Table Of Contents) is displayed.

To finalize the recording or editing function, press the **[■]** button.

- During this process "TOC" will flash and "TOC EDIT!" will be displayed.
- During this process do not jar the unit.

MINIDISC PLAYBACK (pages 32 – 34)

1. Plug in the remote control and headphones.
- Insert the plug fully.
2. Insert a MiniDisc.
3. Press the **[▶||]** button.
 - When you insert a playback-only MiniDisc or a MiniDisc which is protected against accidental erasure, playback will begin automatically.
 - When the "AUTO-PLAY" function works by inserting a MiniDisc, be careful not to forget turning off the power.
4. To adjust the volume, press the **[+]** button to increase the volume. Press the **[-]** button to reduce the volume.
5. Press the **[BASS]** button to adjust the bass.
 - Each time this button is pressed, the display will change as follows:

**To interrupt playback:**

Press the **[▶||]** button.

- Press the **[▶||]** button again to resume playback.

To stop playback:

Press the **[■]** button.

To turn off the power:

Press the **[■]** button while the unit is in the stop mode.

- About 2 minutes after playback has stopped, the power to the unit will be turned off automatically.

OTHER PLAYBACK (pages 35 – 39)**■ Track search**

You can locate the beginning of any track automatically by using the track search function.

To restart the track currently being played:

During playback, press the **[◀◀]** button.

To move to the beginning of the next track:

During playback, press the **[▶▶]** button.

- While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select a track number or a track name.

Press the **[▶||]** button to play the selected track.

■ Cue and Review**For audible fast forward**

During playback, hold down the **[▶▶]** button.

For audible fast reverse

During playback, hold down the **[◀◀]** button.

- Normal playback will resume when the **[◀◀]** or **[▶▶]** button is released.

■ Intro play

You can listen to each track for approximately 5 seconds.

When stopped, press the **[▶||]** button for 2 seconds or more.

- To return to normal playback, press the **[▶||]** button.

■ Random/repeat playback

During playback, press the **[MODE]** button repeatedly until "RANDOM", "◀RANDOM" (repetition of random playback), "◀" (repetition of all tracks) or "1◀" (repetition of a single track) is displayed.

To cancel random/repeat playback:

Press the **[MODE]** button repeatedly to turn off "RANDOM", "◀RANDOM", "◀" or "1◀".

■ Double-speed playback

During playback of a MiniDisc which is recorded in the monaural (double length) mode, press the **[ENTER]** button.

- To return to normal-speed playback, press the **[ENTER]** button again.
- Depending on the recorded materials, the sound may not be clear to listen.

OTHER RECORDING (pages 40 – 47)**■ Synchronous recording**

This function detects sound from an external unit connected to this unit and automatically starts or pauses the recording.

1. Press the [REC] button.
2. To adjust the recording level, start playback from the equipment which will provide the signal to be recorded, and press the [◀] or [▶] button.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
 - While recording digitally, the recording level can be adjusted just like the analog recording.
3. After adjusting the recording level, put the equipment connected to the unit in the playback stand-by mode.
4. Press the [MODE] button repeatedly to select recording mode.
5. Press the [ENTER] button.
6. Start playback from the equipment connected to this unit.
 - The recording will start automatically.

Notes:

- When the connected equipment is stopped, the unit will be paused in the synchronous recording mode. If the connected equipment restarts playback, it will follow the unit to restart recording.
- If no sound from equipment is detected for 3 seconds or more, the recording will be paused automatically.

■ If you want to make a long recording

Double or quadruple time of stereo recording is possible. Also, the 2 times long recording and the 4 times long recording can be made to the same MiniDisc.

1. Press the [MODE] button repeatedly to select recording mode in the recording stand-by mode.
 - Each time this button is pressed, the recording mode will change as follows;

"SP/STEREO" (stereo recording)	→	"LP2 REC" (2 times long recording)
↑		↓
"SP/MONO" (monaural recording)	←	"LP4 REC" (4 times long recording)
2. Start recording.

■ To start recording in the middle of a previously recorded section

1. During playback, press the [▶] button at the point where you want to record a new track over an old track.
2. Press the [REC] button.
 - To cancel the operation, press the [■] button.
3. Press the [ENTER] button.
 - At this time, all of the old tracks and track names recorded after the point where the new recording is started will be erased.
4. Press the [MODE] button repeatedly to select recording mode.
5. Press the [▶] button.
 - Recording will start.

■ Creating your own track number while recording

Press the [REC] button once at the point where you want to create a track number.

■ To resume creating track numbers automatically**[Analog recording]**

If you activate auto marker function while recording in the analog connection, 1 second or more silence allows to number tracks automatically.

1. Each time the [EDIT] button is pressed while in the recording stand-by mode or while recording, "MARK OFF" and "AUTO MARK" will be displayed in turn.
2. Select "AUTO MARK".

To record without creating track numbers

Press the [EDIT] button to select "MARK OFF".

[Digital recording]

When recording from CD or a MiniDisc using the digital connection, track numbers will be created at the same points as on the CD or Minidisc (Synchro marker function).

Notes:

- This unit has a built-in sampling rate converter so that the recording from other equipment (DAT deck, BS tuner, etc.) which has a different sampling frequency is still possible.
- This unit has a device which prevents additional copies of digital recordings made from MiniDiscs which were originally recorded in digital. This limit is based on the standards developed by the SCMS (Serial Copy Management System).

RECORDING FROM A MICROPHONE (pages 48 – 51)

■ Manual recording

1. Insert a recordable MiniDisc.
2. Connect a microphone into the MIC IN jack on this unit.
3. Press the [REC] button.
4. To adjust the recording level, press the [◀] or [▶] button while the microphone picks up the sound.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
5. Press the [MODE] button repeatedly to select recording mode.
6. To start the recording, press the [▶] button.

■ Synchronous recording

In this mode, the recording will be started and paused automatically, according to the sound that is detected from the source.

This mode is convenient for recording meetings or lectures.

1. Perform steps 1 - 5 in the "Manual recording" section.
2. Then adjust the synchronous level by pressing the [ENTER] button.
 - "MIC SYNC H" and "MIC SYNC L" will appear mutually on the display.
 - To record the lower sound, select "MIC SYNC H".
 - To record the louder sound, select "MIC SYNC L".

3. As soon as a sound is detected, the recording will start automatically.

Note:

If you want to use a microphone, be sure it is a plug-in-power type microphone.

- When a plug-in-power type microphone is plugged in, the main unit will provide power for the microphone's operation.
- If a different type of microphone is plugged in, it may not operate properly or it may cause the unit to malfunction.

■ To mark while recording from a microphone

You can mark the recording at regular intervals to be able to locate the beginning of any section.

Press the [EDIT] button while recording or while the recording is paused.

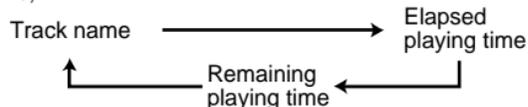
- Each time this button is pressed, the display will change as "3 min MARK", "MARK OFF", "10 min MARK" and "5 min MARK" in order.

CHECKING DISPLAYS (pages 52 – 53)

■ To check the elapsed playing time and the remaining playing time

Press the [DISP] button during playback.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows;



■ To display the remaining recording time and the total playing time

Press the [DISP] button while in the stop mode.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows;

**Note:**

This unit can display katakana characters which conform to the MD standard specifications. If a nonstandard disc is played back, katakana characters may not be displayed.

■ To check the playing time of each track

1. When stopped, press the [◀] or [▶] button to select a track.
 - The track number and track name of the selected track will be displayed.
2. Press the [DISP] button.
 - The playing time of the track will be displayed.

Note:

After displaying the playing time at step 2, just select the track number to display its playing time.

■ Service life of the battery

While the unit is being operated, the battery charge indicator will appear on the display.

As the battery charge drops from use, the bars in the charge indicator will go out one by one.

When the battery is almost completely exhausted, the battery charge indicator will flash.

When the battery has run completely out, "BATT EMPTY" will appear on the display. The power to the unit will be disconnected automatically.

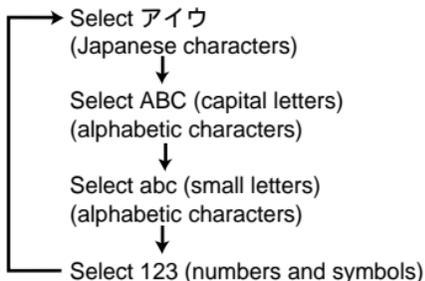
EDITING RECORDED MINIDISCS (pages 54 – 62)

Playback-only MiniDiscs cannot be edited.

■ Disc/track name

To create a name for a recordable disc:

1. While in the stop mode, press the [EDIT] button repeatedly to make "DISC NAME" appear on the display.
2. Press the [ENTER] button.
- To cancel the operation, press the [■] button.
3. Press the [DISP] button to select the type of characters.
- When the type of characters is selected, the first three letters of that type will be displayed for about 1 second.
- Every time the [DISP] button is pressed, the type of characters will be changed as follows.



4. Press the [◀◀] or [▶▶] button to select the first letter.

5. When the letter you want is displayed, press the [ENTER] button.

To add a letter

Press the [+] or [-] button to select the letter which is on the right of the position where you want to add a letter. Enter the letter you want to add, and press the [ENTER] button.

To erase a letter

Press the [+] or [-] button to highlight the letter to be erased, and then press the [BASS] button.

6. To enter letters continuously, repeat steps 3 – 5.

7. After completely entering the track name, press the [EDIT] button.

To create a track name for a recorded track:

1. Play back the track which you want to name, and then press the [▶II] button.
- The unit will enter the pause mode.
2. Press the [EDIT] button repeatedly to make "TRACK NAME" appear on the display.
3. Press the [ENTER] button.
4. Then follow the procedure in steps 3 – 7 of the section "To create a name for a recordable disc".

■ Name stamp function

The whole data written in characters on a MiniDisc which contains tracks and data recorded previously (a master MiniDisc) is able to be sent to a recordable MiniDisc (a MiniDisc copy).

1. Complete a recording from a master MiniDisc to a MiniDisc copy.
- Only sounds are recorded. At this point, the data written in characters has not been recorded yet.
2. After finishing recording, remove the MiniDisc copy from the unit and insert the master MiniDisc to the unit.
- Check the differences between the master MiniDisc and the MiniDisc copy.
3. Press the [EDIT] button repeatedly to make "NAME STAMP" appear on the display.
4. Press the [ENTER] button.
- "READ OK?" will be displayed.
- To cancel the operation, press the [■] button.

5. Press the **[ENTER]** button again.
 - "Reading!" will be displayed.
6. Make sure that "CHANGE MD" appears on the display, and then remove the master MiniDisc from the unit.
7. Insert the MiniDisc copy to the unit.
 - The display will show "INSERT MD", "TOC READ" and "WRITE OK?" in order.
8. Press the **[ENTER]** button again.
 - The display will change from "Writing!" to "COMPLETE" and the NAME STAMP function will be completed. And then the unit will enter the stop mode.

Notes:

- The playback-only MiniDiscs cannot stamp the data written in characters.
- If the total number of tracks is not the same between the master MiniDisc and the MiniDisc copy, "Can't STAMP" will appear on the display and the unit will turn off. If this occurs, edit to make the track numbers same on both discs and retry from step 2.

■ Erase

Recorded tracks can be erased one at a time or all at once. Once a track has been erased, it cannot be recovered. Check the track number carefully before erasing.

To erase a track:

1. During playback of the track to be erased, press the **[▶||]** button.
 - While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "ERASE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The selected track will be erased.

To erase all of the tracks at once:

1. While in the stop or pause mode, press the **[EDIT]** button repeatedly to make "ALL ERASE" appear on the display.
2. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■]** button.
3. Press the **[ENTER]** button again.
 - All of the tracks will be erased.

■ Divide

If you create track numbers at the points where you want to divide the recording, you can locate certain points wherever you like.

1. Play back the track which you want to divide into two, and press the **[▶||]** button at the point where you want to divide the track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "DIVIDE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The original recording will be divided into the two new tracks.

■ Combine

Two adjacent tracks can be combined (for example, the fifth and sixth tracks).

1. Play back the second of the two tracks which you want to combine, and press the **[▶||]** button.
 - While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "COMBINE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The two tracks will be combined.

Move

This function is used to change the order of tracks and to listen to tracks in the order that you prefer.

1. Play back the track to be moved, and press the **▶||** button.
 - The unit will enter the pause mode.
 - While in the stop mode, press the **◀◀** or **▶▶** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "MOVE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **◻■** button.
4. Press the **◀◀** or **▶▶** button to select the direction.
 - To increase the track number....Press the **▶▶** button.
 - To decrease the track number...Press the **◀◀** button.
5. Press the **[ENTER]** button again.
 - The selected track will be moved to the new location.

USEFUL FEATURES (pages 63 – 65)

Hold function

To avoid operations by accidentally pressing the buttons, use the hold function.

Main Unit:

To put the unit in the malfunction prevention state, press the **◻■** button for 2 seconds or more.

To resume operation, press the **◻■** button for 2 seconds or more.

Remote Control Unit:

To put the unit in the malfunction prevention state, move the **[HOLD]** switch.

To resume operation, return the **[HOLD]** switch to its original position.

Various setup parameters

You are able to set up 5 parameters with the unit (beep sound, auto play function, auto power save function, digital recording level mode and light mode).

To set up parameters:

1. Insert a MiniDisc.
2. When stopped, hold down the **[MODE]** button until "SET UP" is displayed.

Then, release the **[MODE]** button.

 - "BEEP ON" or "BEEP OFF" will be displayed.
3. Press the **◀◀** or **▶▶** button to select the menu you want to change.



4. Press the **[MODE]** button to select the items you want to change.

	ON	OFF
Beep sound	BEEP ON	BEEP OFF
Auto play	A-PLAY ON	A-PLAY OFF
Auto power save	AUTO Psave	Psave OFF
Digital recording level	D.L MODE 1	D.L MODE 2
LED light	LIGHT NORM	LIGHT OFF
Backlight on the remote control	LIGHT ALL	
Display on the remote control	LIGHT OPER	

To finish the setup:

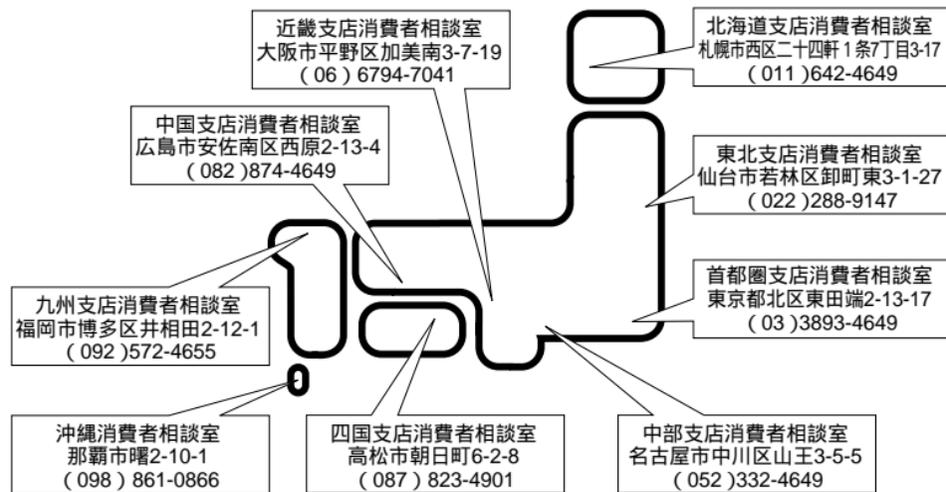
Press the **◻■** button.

Note:

- When you set the auto power save function to "Psave OFF", the battery time will be reduced slightly.

【お問い合わせは】

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室、またはお客様ご相談窓口へお申し付けください。
(くわしくは、80～83ページをごらんください。)



シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)

AVシステム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番1号
電話 (0824) 28-2401 (大代表)

TINSJ0102AWZZ
Printed in Malaysia
C0011.YM.TO